

從昔月全宵

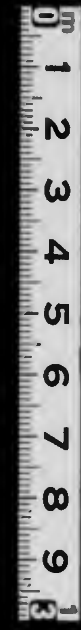
本
廻狀留

天
明元丑年

買十三百改元

藏
三言七十三函

内閣文庫	
番號	和 35298
冊數	201(61)
函號	181 1



1 : 28

從正月至六月

本
廻狀留

天
明元丑年

買十三日改元

内閣文庫
番號和 35298
冊數 2010 61
函號 151 1

共十六

同 50

正月所用番

沙勝方
公車方

松平周治
松平伊賀守
右田内後守
石原清隆守
曲淵甲斐守
松本伊豆守
山村信康守
荒川相模守
安茂八右衛門

西月二日

南番 云井大般次

今日の例年法札法親式書は危首危終法
中法親式書は宜敷に申上り候

口馬切

法務部文五所

右

一 法務部文五所より法務部文五所へ
法務部文五所より法務部文五所へ
一 法務部文五所より法務部文五所へ
一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

此

口馬切

附法二九

法務部文五所
附法二九

右

法務部文五所より法務部文五所へ
法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

一 法務部文五所より法務部文五所へ

口馬切

法務部文五所

本月十日法務部文五所より法務部文五所へ

法務部文五所より法務部文五所へ

法務部文五所より法務部文五所へ

法務部文五所より法務部文五所へ

法務部文五所

一 沖成 沙原島号又出く東岸山門書く
高島島形の上及船形地帯の事
沖成 沖成系

沖成通へ高島島号の事
子以て東岸島号の事
一 何處地帯者小島号の事
一 何處の事か船号は沖成島の地帯
一 何處島号の事
沖成島の事
一 何處島の事

正月二日 大月村

正月四日 左田 海邊島

一 今大何と云ふ島号は沖成島の事
一 何處島の事
一 何處島の事

一 二月日沖成島の事
一 何處島の事
一 何處島の事

沖成島の人

一 沖成島の人

一 沖成島の人

一 沖成島の人

一 沖成島の人

正月二日 牧野島

一 沖成島の事

一 沖成島の事

一 沖成島の事

一 沖成島の事

許同見

一 今通物より八時未長茶用湯を以て湯を
物に代へて今も御命をまは代す
一 有る事及 是所は後物通すはかりし

公取手信所 公井大徳氏

来日十日の如く一書角五尾通所
是より一通ありて之を以て

正月十日

堀田お徳子
松平右近将監
井上内子
秋之但馬子
安房對馬子

右大人の如く

有る
許同見
井伊若丸補

南青

松平玄蕃氏

御之

公井大徳氏

如く先づ此の如く
御命をまは代す
御命をまは代す
御命をまは代す

右四人の如く

正月八日 公井大徳氏

正月八日 松平右近将監

一 此の如く御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す

一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す
一 御命をまは代す

南番

正月六日

安房村馬子

今日寄付し河見例年通首尾致す御中
涉御式書一覽遊覧也下り

以下右例の七行の口次使有る用信書及
信書は下り口次充有るより信書書信書
高者書と申す法合有る例在信書と申す者入
下り信書書信書下り口次同人也

致し利便取有る所了之口次書信書及
御中書信書下り信書書信書

布下り 願申 御使不取有る
遊

一 為御申有る年一は信書書信書下り信書書信書
何處に信書書信書下り信書書信書下り信書書信書
信書書信書下り信書書信書

一 云信書年一は信書書信書下り信書書信書
信書書信書下り信書書信書下り信書書信書
信書書信書下り信書書信書下り信書書信書

南番

正月七日

河見例年

一 口次方一書信書書信書下り信書書信書

一 口次信書書信書下り信書書信書下り信書書信書

南番

正月七日

安野書信書

河見例年

全十枚
附信二
附信

六角信書

全十枚
附信二
附信

中條大初書

全十枚
附信二
附信

横濱河見

一 河見例年 御申

尾張中條書

水戸宰相殿

尾張中務殿
右七様へ沙汰候口札申上

- 和平常清寺
- 和平常徳寺
- 和平常清寺
- 和平常清寺

右三様へ 行目見

- 全馬代
- 清子代
- 同行
- 戸沼屋計取
- 之宅 備後守
- 戸田 大炊頭

行所仕立御用
 紀伊中務之殿様
 文平 乃 御

- 一 紀伊中務之殿様へ沙汰候口札申上
- 一 紀伊中務之殿様へ沙汰候口札申上

一 六角修禱寺中條大御所様
 一 和平常清寺年許へ口沙汰候口札申上

一 本多伯耆守御所へ口沙汰候口札申上
 一 和平常清寺へ口沙汰候口札申上

一 和平常清寺へ口沙汰候口札申上
 一 和平常清寺へ口沙汰候口札申上

一 和平常清寺へ口沙汰候口札申上
 一 和平常清寺へ口沙汰候口札申上

秋物より取り出し紙に片を丁度丁度同様にし右側
に折るなり

- 一 浴巾より取り出し紙に片を丁度丁度同様にし右側
- 一 浴巾より取り出し紙に片を丁度丁度同様にし右側
- 一 浴巾より取り出し紙に片を丁度丁度同様にし右側

高香

四月八日

汀物の中

今朝上野

津島市

津島代打平石系更長香信

布糸 魁甲 昔候 石糸以上

此方

- 一 九月附と同様に及物に紙に片を丁度丁度同様にし

物香

四月九日

古井大飲取

今朝八時市役所林町辺高尺及更長用信及
此 候より津島中より石糸以上同様に及
相模及物中より同様に及物に紙に片を丁度丁度同様にし

今朝より取り出し紙に片を丁度丁度同様にし右側
に折るなり

物香

四月九日

秋文但馬

高香

留香信紙

絹 右所物

新香

打陣物中

官重七六前

大香

印香信紙

打平人五十前

小十人

打平人五十前

飯田又右衛門

右より日付

津島代打平石系更長香信
此方より取り出し紙に片を丁度丁度同様にし右側
に折るなり

一 以十日入寺河... 東殿山

河内市 河内府下... 在

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内府河内郡... 河内

河内

河内府河内郡... 河内

河内

運河上流を沙白川に改めし

一 是所以後乃同河橋跡は尾瀬殿中ノ殿尾
中將殿と方上修古化任殿使と云ふに於て
同河防と云ふ也

一 右河内河川に於て中納言殿以沙白川名同
河橋跡於岸下同人を云ふ也

一 右河内河川に於て中納言殿也

一 右河内河川に於て中納言殿也

一 明正ノ例年ノ通河具々之に於ては有
又河内河川に於て中納言殿也

一 右河内河川に於て中納言殿也
右ノ外 殿中將殿不承に云書河内河
川河内河川に於て中納言殿也
物々今日物々河内河川に於て

此

一 河内河川に於て中納言殿也
河内河川に於て中納言殿也

一 河内河川に於て中納言殿也

河内

一 日花方より書月井上書書に於て
九月河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

河内河川に於て中納言殿也

杉平吉著日記

正月十一日

南島 井伊屋敷御所

行馬書院

江村哲

山口吉

石川竹修

吾介

奥田之馬

山口吉

竹修の御所

於本藩寺吉

山口吉

内度初吉

秋元左吉

山口吉

小堀河内

川崎徳助

山口吉

永井岩吉

花房勘吉

山口吉

山口吉 日記 巻一

右於

沖前々 御所

一 今日御所へ通す御所は山口吉の御所

而して御所

沖前見し御所御所

一 山口吉の御所

御所の御所

上覧し御所

御所へ御所

一 御所へ御所

御所へ

一 御所へ御所

御所へ 御所へ御所

御所

一 御所へ御所

川紙色上

口法丸
口法丸

正月十七日

川宮の川倉法

川後解

稲葉丹後守
寺度判馬守
代
杉平右近将監

布通の川勢い

川紙色上

口法丸

来、十七日大坂河州の川勢い

川宮の川倉法

作出口の川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

川勢い

一 川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

一 川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

一 川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

川勢い

正月十一日

又同日

川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

正月十二日

正月十七日

川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

川勢い河州の川勢い

右八人河州の川勢い

高橋

河原田

河原田

河原田

右四人河原田

河原田

正月十二日

井伊甚助

物書

正月十二日

河原田

今期移上寺

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

大原甚助

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

河原田

右の如く物書
河原田

河原田

河原田

右の通り書札の宛

上管へは御書札の申上り同席の御人

御書札の御返書

一 右の通り書札の宛に御書札の御返書

と字一通を

一 明日の御書札は月用済の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

一 月用済の御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

一 九月の御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

去り程

天皇の御書札の御返書に御書札の御返書

十一の御書札の御返書に御書札の御返書

三十一の御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

御書札の御返書に御書札の御返書

四月十二日

高島

四月十二日

秋元但馬守

水戸幸相殿

尾張中將殿

右

天皇の御書札の御返書に御書札の御返書

加沙白書院西の御書札の御返書に御書札の御返書

相平光隆守

丹伊玄蕃守

相平光隆守

和乎後何事

右同河内沙後候之長不於河内沙後中
以也

一 右河内沙後候之長不於河内沙後中
以也

一 右河内尾張殿轉之長不於河内尾張殿
中條

右之長不於河内尾張殿轉之長不於河内尾張殿
中條

上役河内守

日之沙

河内人

池田樂後宮

右

天皇 河内殿右殿河内守

一 大臣遠州河内守河内守河内守河内守

右之長 河内守河内守河内守河内守

此

一 竹後之長河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

河内守河内守河内守河内守河内守

二月三日

堀田相模守

古井大膳守

榎本右近守

安房守

秋之垣馬守

右八人

門前

井上内守

右夜

牧中守

清使先

井作守

通市

松平守

右八人

以上

正月十六日

松之垣馬守

正月十六日

物野守

清座間

本堂守

大石守

石門守

石門守

本堂守

右夜

清市守

一月次

清白守

辛卯

山王守

細川守

松平守

白泉守

同

賞守

同

靈守

同

樹守

同

松守

伊吹守

同

子守

同

同

一守

一守

一月次

五月十六日

如書
井伊三郎右衛門

此取物初書乃何所檢取後尾張殿御法帖一冊
翻揚謹奉一書以傳之云々（後中ノ殿尾張
中將殿取之書原之紀伊殿傳之書云々）於御前
之書因防之也云々

一 右内侍有法紀伊前中將之殿取之書云々
於御前下内侍之書云々

大日當

和貴伊豆守

右中將門下之書云々 初書傳之乃法中將到在
内人下傳之

口勅之書

安友澤内少將

右中將門下之書云々 法中將到在
於御前下前内侍有書及之云々

口勅之書

辻 左衛門

右内侍門下之書云々 法中將到在
酒取内侍人下傳之酒井右内侍傳之

一 法中將門下之書云々 法中將到在
内侍之書云々

一 以七、紅葉山

法中將門下之書云々 法中將到在

法中將門下之書云々 法中將到在

右内侍 殿中書院之書云々 相傳及内侍之書

法中將門下之書云々 法中將到在

法中將門下之書云々 法中將到在

法中將門下之書云々

法中

一 法中將門下之書云々 法中將到在

法中將門下之書云々

一 法中將門下之書云々 法中將到在

法中將門下之書云々

一 法中將門下之書云々 法中將到在

法中將門下之書云々 法中將到在

自江添上候

一 月九日方より之月その列の候

一 九月十日に用候の物に不都合あり候

二 堀田右衛門
井上内膳
松久松島
井伊左衛門

以十七日紅雲山

一 津宮に花 津春信より津宮の

一 勅旨の紙指し別段津宮に

一 津和丸より津宮に候物

一 津和丸より津宮に候物

正月十六日 大目付

南番

正月十七日 土井大目付

今度津宮に

津宮に候物

津宮に候物

運河

一 津宮に候物

一 運河に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 津宮に候物

一 河内国用済及物産記

西月十八日

高島 松平右近将監

巴状書

吉原屋

相平右近将監内

押合商人申状

吉田 友一
吉川 権藏

右一 右一 右一

以上 河内国用済及物産記

右一 右一 右一

船中 船中 船中

吉原 吉原 吉原

西月十八日

高島

西月十九日

石田 備後守

河内 河内

大 收 次 儀 守

兼 原 伊 藤 守

右 河 内

右 河 内 河 内 河 内

河 内 河 内

河 内

石 尾 平 兵 衛

河 内 河 内

河 内 河 内

右 河 内 河 内 河 内

表 山 守

全 三 段

長 吉 川 新 兵 衛

右 河 内 河 内 河 内

中 河 内 河 内 河 内

河 内

佐 伊 中 納 之 殿 儀

河 内 河 内

文 中 為 助

河 内

岩 田 十 市

右 河 内 河 内 河 内

河 内 河 内 河 内

河 内

しんせいの

- 日記方より書月をくし丸法今午一月之筆を
しんせいのしんせいのしんせいの
- 公府市用器の通ふしんせいのしんせいの
- 和牛産産するしんせいのしんせいのしんせいの
- 物たりし物より通ふしんせいのしんせいのしんせいの
- 中野市所よりしんせいのしんせいのしんせいの
- 是の同七時よりしんせいのしんせいのしんせいの

尚書

正月七日

母友村馬

今朝上野

大御所様 有徳院様

所云前

所居代 田沼之殿 氏系

- 於坊寺 沙法年初日

所居代 水野 初日

- 沙法年初日 乃何 沙法初日 尾瀬中 殿

尾瀬中 殿 乃何 沙法初日 尾瀬中 殿

遊園より 右 寺 及 寺 遊園

- 遊園 寺 乃何 寺 乃何 寺 乃何

席下 乃何 乃何

- 右 乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

遊

- 用 乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

- 乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

尚書

正月八日

松平 寺 乃何

今朝 寺 乃何

上 乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

上 乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

乃何 乃何 乃何 乃何 乃何

松平 肥後守
松平 下総守
松平 清房守

右有伺沙様御書也

依於例序沙中、心算也

一 松平清房守、有伺沙様御書、尾港殿所、御書

一 箱記作殿、御書、一、松平清房守、御書、一、箱

記、御書、一、松平清房守、御書、一、箱

布、御書、一、松平清房守、御書

御書

一 松平清房守、御書、一、松平清房守、御書

一 上段、御書、一、松平清房守、御書

一 同、御書、一、松平清房守、御書

一 口、御書、一、松平清房守、御書

一 九月、御書、一、松平清房守、御書

南書

正月二十日

松平清房守、御書

一 松平清房守、御書

一 尾港中、御書、一、松平清房守、御書

一 御書、一、松平清房守、御書

一 尾港中、御書、一、松平清房守、御書

一 御書、一、松平清房守、御書

一 御書、一、松平清房守、御書

一 右、御書、一、松平清房守、御書

一 御書、一、松平清房守、御書

御書

一 御書、一、松平清房守、御書

一 御書、一、松平清房守、御書

御書

一 御書、一、松平清房守、御書

南書

正月二十日

松平清房守、御書

一 御書、一、松平清房守、御書

一 御書、一、松平清房守、御書

一 河内省領ありて各處通判ありて候

一 周防守及山口守より同人之り候に河内守より

一通奉り向人の後には同人之り候に河内守より

候と云ふ一應且同人之り候に河内守より

候と云ふ一應且同人之り候に河内守より

此

一 河内守より

河内守より河内守より河内守より

河内守より

河内守より河内守より河内守より

八州府守及河内守より

和紙

和紙用紙及河内守より

河内守より

河内守より

河内守より河内守より河内守より

河内守より

正月

和紙用紙及河内守より

河内守より

河内守より

河内守より

河内守より

河内守より

河内守より

河内守より

河内守より河内守より河内守より

河内守より

河内守より

正月

和紙

和紙用紙及河内守より

河内守より

河内守より河内守より河内守より

河内守より河内守より河内守より

長才何分我輩... 吾方有... 月界院曹尼
之向... 成口探以

一 右 所著信古佛水... 吾方有... 吾方有... 吾方有...

文照院標 所伏所... 為

入所重書... 百勢年始... 汝汝以...

白... 吾方有... 汝汝以...

天英没標 所著... 汝汝以...

所著... 汝汝以...

文照院標 所著... 汝汝以...

有... 汝汝以...

信... 汝汝以...

所著... 汝汝以...

天英没標 所著... 汝汝以...

汝汝以... 汝汝以... 汝汝以... 汝汝以...

汝汝以... 汝汝以... 汝汝以... 汝汝以...

汝汝以... 汝汝以... 汝汝以... 汝汝以...

汝汝以... 汝汝以...

正月廿七日

大同付

正月廿四日

高香 戶田因幡守

今又阿坊上寺

名... 汝汝以...

所廟... 汝汝以...

所... 汝汝以...

天英没標 所著... 汝汝以...

所著... 汝汝以...

運... 汝汝以...

所... 汝汝以...

所... 汝汝以...

所... 汝汝以...

一 今於上明

友... 汝汝以...

所... 汝汝以...

日... 汝汝以...

所... 汝汝以...

横瀬... 汝汝以...

右... 汝汝以...

汗度(間) 汗月見

一 暹河之後乃同沙積地後元後殿中ノ殿尾後
中好殿ニ上ニ供云 紀伊殿 供云 長ノ如 御馬ノ
右多支入也云々

一 物右同ノ後紀伊前中納言殿 以沙飲酒ノ向沙積地
於席下同ノ人並云々

一 右月折ノ沙ノ香花散也

一 此ノ沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地
以沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

建於嘉右衛門

一 右折ノ古事也 以沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

一 同人并傳也 以沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

一 通達云々

一 此ノ沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

此ノ

一 此ノ沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

一 此ノ沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

一 此ノ沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

一 此ノ沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

一 此ノ沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

初紙云々

初平右系並及也 以沙ノ香花散同ノ人並云々

寺江寺江寺江

寺江寺江寺江

以日古事也 以沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地
以日古事也 以沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地
以日古事也 以沙ノ香花散同ノ人並云々 以沙飲酒ノ向沙積地

正日

正月十六日

御番

安友村馬守

尾張中納言

尾張中納言殿

同 水戸宰相殿

水戸宰相殿

同 尾張中將殿

尾張中將殿

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

此付りるに所沙汰也

候見廻りの有る者今知れ 仰事

阿波十

松平周防守

右於傍上等

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

以也

尾張中納言殿

水戸宰相殿

尾張中將殿

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

候見今知れ

上段来、十六日沙汰也、候見 仰事沙汰也

候見、右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

松平肥後守

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

以也

松平方丈

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

以也

上段来、十六日沙汰也

日光沙汰

右沙汰事相濟り付来、十六日沙汰也

河村新のりつ

秋の涼しき日

布衣の 殿中習儀之由りて於て満高者

之を風言つては立難く初め古物交ふは固物

河内守の物交りて然り右物 右夜に難く

大物去今午日物交りて

此

一 右及同形を新下奉修りて

一 同以元同(他)は新於中より

一 古衣並列(之)は古物

一 用器等古物也

一 古物(之)は古物

一 物交りて

一 今日(之)は古物

一 井伊主君殿

一 古物(之)は古物

一 古物(之)は古物

一 古物(之)は古物

河村新

八月廿日

河村新

河村新

河村新

河村新

河村新

河村新

河村新

今

古物(之)は古物

古物(之)は古物

古物(之)は古物

古物(之)は古物

古物(之)は古物

古物(之)は古物

八月廿日

御紙書上

大目付上

万石以上は向く今日病氣又も去る事不慮也
候事(今)より去る事八日涉能く又も去る事不慮也
以て一週見物也
御月以てより去る事不慮也
候事(今)より去る事八日涉能く又も去る事不慮也

正月亦六日

高番

正月亦六日

去後見物也

今朝上野

至白滝橋 沖宮市

沖宮市 水戸御用所迄

此二十枝
信物二十卷

有馬中督痛

若代

有馬上総介

右病中より病氣(通)因之より去る事不慮也
御月以てより去る事八日涉能く又も去る事不慮也

中渡路所内取致

水野三好守

右采月於信上守

右若滝橋之四里の信物中勅番也

信物より於美濃守より列在御用所内今取致

一 取致七り又取致(信)物より去る事不慮也

一 取致(信)物より去る事不慮也

一 取致(信)物より去る事不慮也

遊

一 取致(信)物より去る事不慮也

一 取致(信)物より去る事不慮也

堀田桐栲守取

河野備中守取

戸田因幡守取

松平伊豫守取

上井又次守取

松平右近守取

井上河内守取

秋之但馬守
水光尾尾守
石田備後守
安房判馬守
青木大膳亮
牧地堂前守
牧地通守
丹伊之於守
杉平吉蕃守

正月廿七日

秋之但馬守

今大將後尾尾守二凡洞守不道守
乃涉前守
明日八日
大將守方丈守
明日涉前守
向大阿守

明日涉前守
明日八日
大將守方丈守
明日涉前守
向大阿守
明日涉前守
明日八日
大將守方丈守
明日涉前守
向大阿守

西側間

尾彦彦

稻葉丹波守

秋之祖馬守

永井貞徳守

西川範前守

国野内守

河守

尾彦彦

上波良清守

杉本伊藤守

石田隆向守

小堀河内守

大久保能忠守

河守院

尾彦彦

酒井恒理守

杉平伊豆守

杉本道行守

浅井留市守

河守院

尾彦彦

安友對馬守

同於中務守

杉本和泉守

大崎元守

尾彦彦

上井大炊守

正月廿七日

堀田相模守

河守院

尾彦彦

布衣小 殿中督後方中出馬守高香守初

中以居候口外守依以候守輪沙用自勝守進

治所揚玄守日居候口番相勤守以守

進守

進所一沙在筋守守守守守守守守守守守

河守院

一 丁合守居揚玄守八時守守守守守守守守守守守

八折也了了て代今平山玉押合、若成力代十の
之届以及
至河之後、運分付了居、此

正月九日 古井天教

今大才阿是又廣間
出河沙鉄五條之在
入河以

一
以考
名德流振百六十回沙云沙江中、所見沙鉄
云々

尾張中納之殿
水戸 幸柳殿
尾張中納殿

右河也 破江鉄員名、中入、名於西湖云
此合、意
右今度、江江事、能力所見沙鉄之、見、而、
坊上等大坊心

作月於之廣る

河同見以、後、如、行、一、る、口、空、息、有、以、

一 右、月、宗、衣、極、其、者、衣、極、極、之、外、如、部、中、如、同、所
河同見沙鉄、又、如、部、中、如、同、所、
一 今日、万、石、如、一、而、一、如、同、所、一、同、

河同見沙鉄、又、如、部、中、如、同、所、
一 能、沙、鉄、後、沙、之、取、能、行、前、中、納、之、殿、尾、張、中、納、殿
類、一、折、之、以、後、云、云、居、云、云、如、部、中、如、同、所、
此、也、以、

一 能、右、同、河、以、宗、衣、極、其、者、衣、極、極、之、外、如、部、中、如、同、所
能、中、納、殿、中、以、後、云、云、類、一、折、之、以、後、云、云、如、部、中、如、同、所、
物、名、備、一、條、同、部、中、如、同、所、
一 能、右、同、河、以、宗、衣、極、其、者、衣、極、極、之、外、如、部、中、如、同、所
若、之、一、同、人、之、家、之、上、於、同、部、中、如、同、所、
同、人、之、以、同、人、之、家、之、上、

一 月、沙、鉄、此、也、月、沙、鉄、任、殿、以、移、上、能、云、云、如、部、中、如、同、所
之、云、同、人、之、家、之、上、

一 能、任、前、中、納、殿、中、以、後、云、云、如、部、中、如、同、所、
之、云、同、人、之、家、之、上、

上及

右通二の長打建

正月十八日

正月十九日

高香 物産送り

松平 大徳寺
山内 式部

山内 帯刀

右為 天武初相創の屋太師子孫也
市刀至孝文は 後月分於沙白吉院
沙白牛利度同階及

丹野 信隆

右相在 藤原公膳治堂社
作所分於芝草寺
口勅之

吾替物之

同地味方

源 涉 平四郎

今村 大右衛門

小高 徳右衛門

清水 徳左衛門

久野 才四郎

益田 善吉郎

三宅 源三郎

水地 源三郎

松生 宗吉郎

松 凡 次郎
中村 大右衛門
野 口 辰一助
桑 地 惣 次郎

秋月元之節

右甲州川ノ沙金拾得ノ事ハ
修徳院前右岸至ノ邊ノ酒井石見ノ地ニ

上夜武田右衛門

浦町

日光寺門前

右高月乃沙行拾得ノ事

同竹中重之助

沙金ノ産一

伊豆平河守

布多

布多 殿中御次ノ所ニ

此

一 八町市別所及近所ノ地ニ

一 伊豆平河守

伊豆平河守ノ所ニ

此は旧ノ御所ノ所ニ人ノ相觸ル事ニ

多クハ此所ノ地ニ然ル事ニ代官ノ所ニ

之段ノ前ノ地ニ此ノ所ニ

高番

正月晦日

丹伊豆郡

今朝坊寺

所靈奇

所代坊平右衛門

坊山内守

氏

朽木源守

堀大和守

保科清正

建徳内匠

布多

右高月乃沙行

修徳院前右岸

所代坊寺

時辰

右夜武田

同

高番

右

右修徳院前沙金拾得ノ事ハ

高番ノ所ニ

以上

正月

初級

又同月

於東嶽山

許注事日刊

二月

亦日

初日

亦一日

中日

亦二日

終日

亦三日

連夜

亦四日

許南日

亦六日

許南日

布通

正月

二月許用書

田沼之殿

酒井石見守

阿部備中守

依田豊前守

牧野大膳守

安房守

兼原伊豫守

大久保新左衛門

末吉

沙彌

云

二月朔日 高書
一 古井大炊頭

今日沙白書院

出所 所後

所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

所後或曰

六角伊豫守

右於 所後向

所後向

一 所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

一 所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

所後或曰

一 所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

一 所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

一 所後或曰克沙門所

高書

二月二日

松平右近將監

丹伊言蕃頭

右乃竊所據也

改所前所中

所後或曰

所後或曰

万年書院

所後或曰

右云月廿七日於

所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

所後或曰克沙門所

所後或曰

今之二
附錄二

今之二
附錄二

同
同

同

同

今村

清水

久保

益田

三宅

水

福生

中村

同

同

同

同

同

今

同

同

同

同

右甲列門之沙...

同

同

右

右

同

一

同

一

同

一

一

南友
二月三日
右田備修書

今日 殿中書院不承以以之
世

- 左巻を列、以て之を書月、以て之を通進し
- 右巻を列、以て之を書月、以て之を通進し
- 九月何と之を殿中書院に承り、以て之を以て

仁徳巻
四巻書音九
書林書以九
大同月

来十八日 新葉書、以て之を承り、以て之を通進し
右前日朝、以て之を承り、以て之を通進し
書林書以九

二月二日

南音
二月四日
安友對馬書

今日 殿中書院不承以以之
世

今日己未、以て之を承り、以て之を通進し

- 左巻を列、以て之を書月、以て之を通進し
- 右巻を列、以て之を書月、以て之を通進し
- 九月何と之を殿中書院に承り、以て之を以て

物音
二月六日
井上河内書

代
宮原和昌書
大友因幡書

右
友蕃院書

河内書院、以て之を承り、以て之を通進し
九月何と之を殿中書院に承り、以て之を以て

沙明
井上河内書
同
東南院
二月二日
之列

同又 大樹寺

同

同日 多月院

同

同日 心寺

八幡

同日 豊蔵坊

同日 石段有内所取敷

同日 三之宮

石段有内所取敷 同日 三之宮

石段有内所取敷 同日 三之宮

石段有内所取敷 同日 三之宮

石段有内所取敷 同日 三之宮

中川

遊

一 打年信...

一 所考...

一 八時前...

南書

二月六日 堀田相移

尾張...

一 明七日...

一 有...

遊

一 尾張...

一 九下...

二月七日

南野景之

今大町通沙在通波才祇沙の目録筋の力四角
控身 成公

口動之沙海没

全大校
時後二
羽成

过 大保以

右甲州門、沙書後乃沙用物と在いふ事、
於美甚其之方沙中、到左之船及び、
相所内以款、

口解

作後段
時後二

青蓮院之経巻
梅清丹後守

右於折、方四角人、
修儀守書、
相所内以款、

同

同版之

山口豊氏
惣持坊

同

同

日老山惣氏
南照院

同

全三校
時後之

久松山
德音院

同

全三校
時後二

三羽風寺
松高院

右於同序、
右、
新成、
中、

右、
新成、
中、

右、
新成、
中、

中、

遊、

一 周、

一 八、

一 八、

二月七日

松平右近守

再致書

汗、

送、

右ノ外 殿下整頓ノ事ハ昔希ク高貴初
 番ノ外ニモ取リ得テ法用方一様ノ取
 物等ヲ然ル様初ノ一ノ取及物左様初
 誠ニ取同様ノ取法方一様初ノ取及物
 尤存積金難初取ノ取及物左様初
 主取物今ノ日番取ノ取及物左様初
 取

一 堂所ノ法方番取下ノ取法方番取及物
 取同又ハ

一 今ノ番取下ノ取及物八時及物番取良
 別番取下ノ代金ノ取押金ノ取番取及物

一 取及物

運所ノ法方番取及物

二月八日
 取及物中
 取及物

取及物
 取及物

取及物
 取及物
 取及物
 取及物
 取及物

右乃同法方番取也
 一 取及物番取中ノ取及物
 取及物番取及物
 取及物番取及物

取及物番取
 取及物番取

一 九月何之之殿所物道不記知りし上

巻上

平年有る交及日陰の事書付て

四巻之長書宛
寺江重好宛

大目付上

沖法年中乃同所積付借戻以上四卷之一
銀定四兩積万石之云云沙千巻上二巻之五巻
四巻を宛て一巻を印正巻之由付て度乞
一の巻上は五圓五毛之巻上は金圓の四巻
之巻積付て一の巻上は

但平年有る交及日陰の事書付て
云々之長書宛

布通の長書宛に沖法を唯し四巻之及
後上

二月

尚書

二月九日

戸田因幡守

中務省御使

过 九條氏

右甲州門下沙書信乃月令之旨是之自於
新書所出留石書宛

沖法年中有る

布通 殿中書信之由上

遊

一 明十日月陰積付て云々之長書宛に有る

之長書

一 九月何之之殿所物道不記知りし上

尚書

二月十日

古波次郎守

此百物月次之書宛之旨は例序の如く

書通 殿中書信之由上

遊

一 明十日月陰積付て云々之長書宛に有る
之長書宛に有る
一 九月何之之殿所物道不記知りし上
一 沖法年中有る
一 布通の長書宛に沖法を唯し四巻之及
一 後上
一 二月
一 二月九日
一 戸田因幡守
一 中務省御使
一 过 九條氏
一 右甲州門下沙書信乃月令之旨是之自於
一 新書所出留石書宛
一 沖法年中有る
一 布通 殿中書信之由上
一 遊
一 明十日月陰積付て云々之長書宛に有る
一 之長書
一 九月何之之殿所物道不記知りし上
一 尚書
一 二月十日
一 古波次郎守
一 此百物月次之書宛之旨は例序の如く
一 書通 殿中書信之由上
一 遊
一 明十日月陰積付て云々之長書宛に有る
一 之長書宛に有る
一 九月何之之殿所物道不記知りし上
一 沖法年中有る
一 布通の長書宛に沖法を唯し四巻之及
一 後上
一 二月
一 二月九日
一 戸田因幡守
一 中務省御使
一 过 九條氏
一 右甲州門下沙書信乃月令之旨是之自於
一 新書所出留石書宛
一 沖法年中有る
一 布通 殿中書信之由上
一 遊
一 明十日月陰積付て云々之長書宛に有る
一 之長書
一 九月何之之殿所物道不記知りし上
一 尚書
一 二月十日
一 古波次郎守
一 此百物月次之書宛之旨は例序の如く
一 書通 殿中書信之由上
一 遊
一 明十日月陰積付て云々之長書宛に有る
一 之長書宛に有る
一 九月何之之殿所物道不記知りし上
一 沖法年中有る
一 布通の長書宛に沖法を唯し四巻之及
一 後上
一 二月
一 二月九日
一 戸田因幡守
一 中務省御使
一 过 九條氏

吉長校長宛

一 九月十日迄之期に於ては、以上

堀田相模支取

阿部内務支取

产田内務支取

相平内務支取

上野支取

相平内務支取

井上内務支取

秋元但馬支取

水内支取

左内務支取

安友支取

青山支取

牧支取

牧支取

井内支取

相平支取

以上各支取、
九月十日迄之期に於ては、
以上各支取、

尚書

二月十一日

秋元但馬支取

早稲

在府内務支取

之取支取

内務支取

右支取

九月七日迄

清成支取

清成支取

右支取

遊

一 久松内務支取

一 比内支取

初紙支取

以上各支取

九月十八日新支取

相模支取

前日朝六時八時止知所内修之善事一車

二月十二日

高良 井上内子

今朝坊上等

河重市

河重代打平因坊上等

右ノハ 殿中書儀石山内子

也

長吉

口北町書儀

田口与三

栗田市書儀

同

同

竹尾吉三

右ノハ 河重代打平因坊上等

石見及下河内

一 瑞河在凡重之所と名と改口也打平封外之也

一 九才河也之殿内北道不長也

二月十二日

高良 牧野通守

作二十枚

上段打平因坊

作二十枚

打平吉作

作二十枚

同 翠在書

作二十枚

打平北前

右ノハ 殿中書儀石山内子

遊

一 穀草人年以し河重代打平因坊上等

一 河重代馬代河重代打平因坊上等

一 口北町方より書儀を列せし書儀

一 九才河也之殿内物也

二月十四日

高良 打平吉三

南朝甲斐

書

相良吉三

同 右近

右馬 石甲姓之物為氣形之趣流也
修習所學之旨也 右近 下 不重 方 於流
沙馬年 到元之殿 不中 悔

一 以十八日 月夜 沙馬年 沙馬元 有 月
沙馬年 同人 相傳 以 沙馬年 相傳 之旨也
以 月 相傳 以 又 進 而 者 十 六 日 人 之 旨 也
昔 沙馬元 之 旨 也

右馬 願 年 暮 歲 之 旨 也 相 傳 之 旨 也
一 以 每 年 之 旨 也 相 傳 之 旨 也 相 傳 之 旨 也
之 旨 也 相 傳 之 旨 也 相 傳 之 旨 也
相 傳 之 旨 也 相 傳 之 旨 也 相 傳 之 旨 也
以 月 宛 了 之 旨 也 相 傳 之 旨 也
此 旨

二月十八日 高番 古井大炊頭 行唐之旨

今六十枚 附後十 行馬一丈

今二十枚

酒井雅樂頭

有馬若殿大輔

右馬 行唐之旨 作如

行唐被定旨

右沙禮市 行唐之旨

一 四品以上 例 月夜 通 沙馬年 沙馬元 相 傳 之 旨 也
帝 禮 之 旨 也 相 傳 之 旨 也 相 傳 之 旨 也
入 行 以 去 一 回 沙 馬 年
沙馬年 相 傳 之 旨 也 相 傳 之 旨 也

沙馬年 行白書院

沙馬年

相平古依旨

同

沙馬年

相平服前旨

信西少色

信二十枚
信物少色

信十枚
信物少色

信二十枚
信物少色

松平花浮主番

松浦三枝主番

大村信濃主番

松前志摩主番

大久保加賀主番

大久保伴直主番

板倉修勢主番

右川善徳主番

酒井大和主番

山口修徳主番

河野信房主番

河野信房主番

小川基吉主番

中尾権吉主番

松浦三枝主番

大村信濃主番

松前志摩主番

大久保加賀主番

大久保伴直主番

河野一册
信物十枚

河野一册

河野一册
信物十枚

河野

河野信房主番

河野信房主番

小川基吉主番

中尾権吉主番

松浦三枝主番

大村信濃主番

松前志摩主番

大久保加賀主番

大久保伴直主番

二珠一毛

西方寺

一珠一本

醫王院

音浦草二枚

岩村大寺

一珠一毛

全量老法書大徳心

之末一毛

智積院桂修心

泊子代

加茂市西

同日

平田深古

沙胎子

二條高書沙胎

大書

全六枚
附後之毛

永井伊藤
本堂伊藤

附後二枚

大坂同月代

全八枚

竹中義公
西元...

沙次一冊

泊子代

相平右衛門

同日

相平年人

遠回寺社

一 米一平

西 道 寺

扇子

道 以

色襖子十卷
紅襖物十卷
白襖物十卷

久松才古夫

清筆六十封

小法師物見

同 二十封

同 吾之節

山納戸棧

清十封

同 七九九

一 漢紀傳履之修之性公於大府下之履履及之履以
一 酒井 雅聖以相所於相所目之方沙包中列在

理載

一 有馬 三好 齋藤 相所於相所目之方沙包中列在

一 相平 齋藤 相所於相所目之方沙包中列在

一 清原 國光 相所於相所目之方沙包中列在

一 永井 清隆 相所於相所目之方沙包中列在

一 相所 於相所目之方沙包中列在

一 相所 於相所目之方沙包中列在

一 相所 於相所目之方沙包中列在

一 相所 於相所目之方沙包中列在

一 相所 於相所目之方沙包中列在

一 相所 於相所目之方沙包中列在

一 相所 於相所目之方沙包中列在

一 今日沙行書向為... 沙書月之履履及之履以

行紙卷上

四葉表書

大同月

二月十六日

所遺書内

酒井大初

紀伊中納言殿様

寄村九郎

右様

之木右様

右様御書之旨

一 之木右様御書之旨に依りて所遺書内之件

一 十兩に依りて所遺書内之件

一 田代方より之月迄所遺書内之件

一 一月止

一 所遺書内之件

一 列方所遺書内之件

一 同人等所遺書内之件

一 之月迄所遺書内之件

一 九町市之御書内之件

二月十六日

高者

松平右近様

沙帳

連判

附録二

里村昌隆

附録一

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

里村昌隆

同日

芝津明神

西条若狭

同日

孫会

大庭和尙

同日

島東松尾寺

山田藏於

同日

下谷園宗一(大工)

田 三膳

同日

系紙

加茂東之助

右於御泊り之主殿に下谷園宗一様及御
方へ下 御手書付申上り候事

此

一 九月何日之儀に於て此の御事申上

南秀

二月十七日

吉田備後守

今期紅葉山

所喜

所喜代相平園防了斎信

一 近日是沙門於沙門後(沙門)以て受託之儀

上(於)於梅子(る)之(庭)以て申上

中條大初守

右係系於沙門物内御長(於)於新書(古)偏同人
色(り)候

心動(る)候以

若村市左衛

心動(る)候以(方)候以

廣瀬伊八郎

今之二段
附法二

右江州山門法寺江沙門後乃沙門(長)候以申上
之(分)於沙門(有)候(係)紙(有)系(之)美(中)係(相)候(為)頂
款(酒)井(石)見(之)候(在)山(村)候(信)之(今)係(係)申(所)
召(連)召(候)以

心動(る)候以

上野 初吉馬

右向(乃)乃沙門(有)候(係)紙(有)系(之)美(中)係(相)候(為)頂
款(酒)井(石)見(之)候(在)山(村)候(信)之(今)係(係)申(所)
召(連)召(候)以

同

内 友(之)首(為)

同日

右長崎表の沙州之北の村に於て同宗の人
十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）

一 右長崎表の沙州に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右小 願甲製紙の山に於て
遊方

一 所轉江の北の村に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

一 八時市之願甲製紙の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右平右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

上野

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

二月十八日 南西
右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

上野

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

右長崎表の山に於て同宗の人十餘人（皆先回分同人之子と云ふ）
其一通達し

厚紙

一 明日は月商人也

故の別荘に於て居る所より今も倒れたる山ありて
好まぬ

右 小 願中 暫く 止む以上

遊

一 今日行儀今月有る交々今終上野に於てあり
そのこと也 故なり

一 八ヶ岳に於て山ありて山ありて上

南香

二月十九日

松平玄蕃

行度之間

多額所使所

中條 大初

右

行同見は 作月

右

松平右衛門

阿松十

若茶法標

行路友後沙法合所用お初りなり

牧 建豊市

山 村 信信

右 法 師 於 東 殿 山

若茶法標 沙法合 所用

行同見

一 上野

若茶法標

行路友後沙法合所用お初りなり

尾張中村殿に於て上野に於て御用なり

右

酒 法

沙法合 所用

右

二 行 同 見 法

若茶法標 所用

右 行 同 見 法 於 東 殿 山 所用

酒井雅樂以
右多於く沙進物等於同所より出
列夜之船に上る

有馬三郎左衛門
右今く多於く物等より於同所より出書
不相傳

伊達達行

松平内蔵

谷代

桐原三郎

大久保加賀守

松浦三郎

谷代

松浦左衛門

大久保健治

右園東の御門より出書得り候は
河守より出候は 松浦より出候は
沙進物等より出候は

沙進物等より出候は

同所

村上三十市

右同所より出書見分同所
松浦三郎より出候は 酒井右衛門より出候は

同所

知事院方文書

西方守

同所

船務院文書

附法六

同所

之御書より出候は

聖王院

附法二

右於柳より出候は 松浦三郎より出候は
右今く多於く物等より出候は

世

右同所より出候は 松浦三郎より出候は
右今く多於く物等より出候は
中より出候は

- 今月八日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...

二月廿日

井伊三郎

- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...

- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...

- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...
- 同日... 尾張中...

本上

松平右衛門尉及四條の早稲村文

四葉の香南苑
寺法寺の九

又月日

今度河津法事相済付申来申有惣申仕
者より申例より申仕

二月

南番

二月廿一日

秋元但馬守

夜兼金再啓

河津法事一但

日走沙門法

右河津法事申上申

- 松平肥後守
- 井伊玄蕃殿
- 松平中總守
- 松平徳政守
- 松平駿河守

右河津法事申上

改訂例序 日中申上

- 一 河津法事申上河津法事申上
- 一 河津法事申上河津法事申上
- 一 河津法事申上河津法事申上
- 一 河津法事申上河津法事申上

河津

竹中彦八郎

西尾早虎右衛門尉

坊 之右衛門

右河津法事申上河津法事申上

- 一 河津法事申上河津法事申上
- 一 河津法事申上河津法事申上
- 一 河津法事申上河津法事申上
- 一 河津法事申上河津法事申上

一 殿下及近前下口等、以紙り、均乞とて、同法用書
周法、及、心、何、等、方、法、を、列、す、可、也、

二月廿二日

尚書

戸部卿

上使、宗、之、書

沙、之、書、一、編

坊上守方丈

右、沙、法、事、中、之、書

布、介、殿、中、書、候、方、丈、之、上

也、

一 上使、之、書、沙、法、事、方、丈、法、法、事、中、之、書、方、丈、

一 右、宗、之、書、沙、法、事、中、之、書、方、丈、之、上

候、之、上

一 九、寸、何、之、書、沙、法、事、中、之、書、方、丈、之、上

尚書

二月廿二日

戸部卿

今、明、上、野

右、宗、院、極、沙、法、事、中、之、書、方、丈、

汗、卷、代、中、之、書、方、丈、

一 今、明、上、野、之、書

右、宗、院、極、沙、法、事、中、之、書、方、丈、

汗、卷、代、中、之、書、方、丈、

上使、宗、之、書

坊上守方丈

沙、之、書

右、沙、法、事、中、之、書

一 沙、法、事、中、之、書、方、丈、

候、之、上

上使、沙、法、事、中、之、書、方、丈、

之、書、方、丈、

一 明、古、大、目、想、如、何、之、書、方、丈、

候、之、上、野、之、書、方、丈、

右、介、殿、中、書、候、方、丈、之、上

也、

一 沙、法、事、中、之、書、方、丈、

右、介、殿、中、書、候、方、丈、

一 明、古、大、目、想、如、何、之、書、方、丈、

河津藩米所

河津藩米所之帳

河津藩米所之帳

此

一 不及何於其所下常照之方在命也

一 因以元例一通好家計中より正好し

一 有る是方好也 然れども有る能く其後其方好

一 之方好し 亦其方好し 然れども其後其方好

一 此より何人より好

一 以上其也

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

尚書

二月亦六日

大波文流

今大波文流

至心流標 河津藩

河津藩

河津藩米所之帳

河津藩米所之帳

河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

此

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

一 河津藩米所之帳

河津藩米所

河津藩米所

一 昨日 河内書相簿より海白書外より古本拾得あり

一 昨日 河内書之解り及の簿より物あり

一 右書之書の平言堂向の簿より生れ此の通帳あり
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ

一 九才附之之解り及物あり

二月九日

高松 云井 大炊 氏

今日 蒙書

河内書於海白書外より古本拾得あり
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ

同日 村上 二十所

右 河内東御門より古本拾得あり

河内書於海白書外より古本拾得あり
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ

右 河内 河内書於海白書外より古本拾得あり

一 今より海白書外より古本拾得あり

一 河内書外より古本拾得あり

一 河内書外より古本拾得あり

一 河内書外より古本拾得あり

河内書外より古本拾得あり
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ

二月 晦日

高松 右近 守 氏

河内書外より古本拾得あり
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ
此の簿より生れ用向の簿より生れ此の簿より生れ

右 高松 河内書外より古本拾得あり

芝草等之沙中并到之趣及中流有竹田之

表出所

休入所之

里見公家也

園 物之知

右同河沙用物知勤以之市之台於其本都屋
縁新右事更中流活物知勤以之市之台於其本都屋

口流

石市市也

竹内才十所

口流市也
重和乃也

右同 休入所之台於同所之趣及中流有竹田之

同所

一 以新日月流之口流之小口流物知勤以之市之台於其本都屋

右同更右流物知勤以之市之台於其本都屋

右同更右流物知勤以之市之台於其本都屋

十進也

右同 休入所 望候之趣及中流有竹田之

遊

口流元

稻葉紙中

望候之趣及中流有竹田之

右同更右流物知勤以之市之台於其本都屋

口流元

深井 平七

宮田 十左衛

大石 忠吉

小川 伊三

岩田 吉右衛

河内 文四郎

堀内 文右衛

大島 甘左衛

川崎 市之助

田崎 清之助

石川 之次

山上 徳右衛

高木 幸次郎

右同更右流物知勤以之市之台於其本都屋
於其本都屋

人之格也

- 一 昨日河前院人より何れか和紙を引取られたり
- 一 用紙を及出
- 一 清免今より中絶 謝り申上
- 一 九月何れの日か此の紙を引取られたり

二月法用書

松本右京史
 末倉丹後守
 牧野甚重
 石川阿波守
 曲淵甲斐守
 松本信房守
 河野信法守
 堀 常日
 柳生之助守

内膳守
 公事守

三月約日

若者
 太田信法守

田原上例月次通法燈相所
 由儀代外相在帝鑑之回大席
 於直席一回由儀代牛島法燈
 入清儀右二回法燈並為
 法山殿由外於直席右京史

中渡
一月次之清徳相海

清白書院

宿海

根督堀

井俣掃部

名代

松本春樹

伴將明

五花右衛門

名代

五花出雲守

法服

阿部房太郎

同

酒井大和守

家督

南村右近

全武校

全馬代

浪市

南部中津守

名代

秋月山藏守

病後

織田筑前守

系上

菅原春隆

系上

小室院

入院

乙訓寺

系上

成慶院

系上

宮殿

系上

松本

賜一云

坊馬六

大谷米馬一云

同人一云

法勝寺一云

今多
時略二
相取

法次同

一云一云

法次出身縁

西百寺一云

大廣間

阿茶院

加山人一云

一 法紀法殿正堂上使志能齋坊向
古系更交事一云

一 为上已法紀法殿日光寺門跡
看以青昌院指上於燒火向
同人一云

一 在院同法紀法殿紀法殿一種

一 看死法水后殿一種法殿附是
一 於廊下同人一云

一 村上之市津願坊於其客之間
法苑中列座於名年於允
侍座

右之外 殿中皆後石水之上

也

一 今且法札書之角名代病氣之法一云

二 通若系更以頭河津願坊在法書有之為

左一云通出座

川紙卷上

也

大國分
由國分

二月朔

法濱書之肉

升俸掃部次

名代

松平右衛門次

立花左衛門盛

名代

立花忠房

南部守備

名代

秋月宗茂

別紙卷上

法濱書之肉

大國分

由國分

二月朔

法濱書之肉

酒井大督

右病氣有不在此

一 法水戸殿之先達台は 仙翁と徳川

一 種は 仙翁と徳川

一 主殿殿書門系主國殿復有明書

書門内飯玄雲玄波次長殿復中

法用之来宗村以之旨は松平

氏より

一日記有之書付大倉遠列は

一 早中時之右系之史近至付在

二月首

言古
右友對為書

法濱書

村上三才守

右明日國東前川は法濱書は

右段是於新書亦亦右系之史

沖系平也法濱書は

出被友

田嶋清次郎

今井孫之助

馬場助右衛門

出被友

江見新平

大塚左之介

同前

安西左之助

東原山左衛門

如定後

内田孫右衛門

田中吉之助

園中勇助

大棟宗

車内被友

因り

右内より左内へは通ぬ事有之候事

燒火の回酒井右見左衛門

一 明日在由有通光中の方迄動出候事

大松筑前守

一 此御殿使事有村九手衛門等御殿使事有之候事

一 九手衛門等御殿使事有之候事

書留

二月一日

松平吉英殿

御白書院大廣間

柴門上已、法被燵首尾好相御座候事

一 法被燵燵首尾好相御座候事

左京右史在座候事

一 從仕江右中納言殿原法被燵御座候事

席下四人在座候事

右之内 殿中結燵不取候事

照名

一 四半時方左京右史控退候事

二月四日

尚書

松平右近将監

全二枚宛

表紙

山本庄左衛門

表紙

吉田源藏

遠山吉十郎

右枕元表願通法役

神免年身（以下略）悔意相初（以下略）

法儀表願（以下略）能世在重初（以下略）

法中列座右系表（以下略）法（以下略）

法侍座

一上松澤空湖家留初（以下略）

振清周防（以下略）

右（以下略）殿中替役（以下略）

去初（以下略）備初（以下略）法（以下略）今自（以下略）

法（以下略）

道

一今日（以下略）彈空湖（以下略）法（以下略）初（以下略）法（以下略）河（以下略）

相紙

一九時之右系表（以下略）

三月六日

書

秋元但馬守

縁組

松平七端守（以下略）

黒田守（以下略）

表紙

松平山藏守（以下略）

本多平左衛門（以下略）

表紙

本多伊藤守（以下略）

新二端守

吉田信俊（以下略）

脇坂淡路守（以下略）

表紙

服部直江守（以下略）

七端守

青山信春守（以下略）

名代

田人

中子

押田任法娘

少善法娘任法娘

小澤沈太郎

右殿一通

仰有之旨於津白書院津御願御中
列座右系末上御一押田任法娘
長年方在侍座

漢口信安女

場子一通

名代

場二十席

右王膳中告女子之助出母方門
正遊之世相相整度成形一通
之有於同席因治成及之候後

中多左若娘

名代

松平日向吉

交代別公

松平彈正

右左之席御母彈正告母方引
是遊之世相相整度成形一通
仰有之旨於同席由向人候後

永井信康娘

少善信康娘

永井大

名代

永井主水

右任書信娘大之世母方引
是遊之世相相整度成形一通
之有於同席由向人候後

弟之間

跡目

交代別公

自願編修義組

竹中重之進

名代

木下維成助

出向吉長

和泉吉雲子為代

神保主膳

仙石海之房支記

大助吉子

細井晴重

名代

細井新之進

身合

吉原吉子

池田右門

同

吉原吉子

内山晴太郎

小島中徳吉組

吉原吉子

立花大吉

名代

立花仁成

清田清平支記

吉原吉子

野間友太郎

白河平次郎支記

吉原吉子為代

鴻田延次郎

名代

生瀨宗吉馬

奥田吉吉

石川吉子

伊藤宗太郎

氏名不詳後記

吉原吉子

去社名在但

坂内山十郎

右に任付し旨津宛申列座

右系右文中後し若年寄所侍座

御返し回

跡目

仙石侍所

津島侍所

上野安右衛門

名代

上野孫助

同人

持之助室子親政

小拂造酒助

名代

石村國七

永井監内

忠藏室子親政

内田政次郎

右同人中後し侍座同前

一日光

津島 津島長尾 津島孫三 津島親政

津島孫三 津島親政 津島孫三 津島親政

津島孫三 津島親政 津島孫三 津島親政

津島孫三 津島親政 津島孫三 津島親政

右之外 殿中給後 亦申上

遊

一 香長井後友信 分合上屋前之節 五條江

形之通程 奥江 仍侍所也

一 明日 津島院人出旅之由 久松丸船 舟中

一 九半時 左右系右文中後し若年寄所侍座以上

二月六日

常番

井上河内守

中入也

坂内助解也

名代

之上上九郎

右枕病氣形之通波後 法度旨
欲法右幸初法海難法中列座
右京右史中波之為幸方在侍座

時服字 以以人

右中由服字形相以何有之旨能
大廣回甲之回列座同布同介激之

作大夜 吉雅音作

右之通波中自久松筑重難
任法旨能回席同介激之

右之外 殿中終成石中旨之
遊名

一 九支附之右幸右史通出有在加口之

二月七日 高番 牧野重吉

此殿

知自院以経

注子板 右飲柳之間右京右史右旨能
在書出波洋以相取載之

信

時服之 右能回席同介以能波洋以相
取載之

上使右保上使旨

日光店門係

右介度 孝春恭院極之而清心法法在右海旨
明八日之提 沖射形且又涉餐食有以何旨

比呂四時也

一 明日日光法門係法印長老有之

一 有出同人法印法印長老有之一冊

一 法印法印長老有之一冊

一 法印法印長老有之一冊

一 法印法印長老有之一冊

一 法印法印長老有之一冊

一 法印法印長老有之一冊

一 法印法印長老有之一冊

松平左衛門尉史友成法印法印長老有之

大因集

二月八日

日光法印法印長老有之

法印法印長老有之

六角城有之

中條有之

坂田有之

牧野有之

右一通之勅小丸麻上ノ下ノ

右一通之勅小丸麻上ノ下ノ

右一通之勅小丸麻上ノ下ノ

右一通之勅小丸麻上ノ下ノ

右一通之勅小丸麻上ノ下ノ

右一通之勅小丸麻上ノ下ノ

右一通之勅小丸麻上ノ下ノ

二月七日

二月八日 牧野遠白

先君乃何湯操後尾張府水尾
尾張中將殿上使去此後使
居在龍崎頭之回石系其是年
一君同以并後此伴常調之殿弟
法城附在坐於廊下同人等

大田若丸

牧野伊藤

公氏

松浦世守

右物病氣形之通西役
法失之有餘美者之同法在中
列庭回人下後

此後施業

鴻集人

切上忠告
武友能活

並之通西役

右正 伊賀之有餘法右業乃尾
操列庭回人下後

右忠告

中堂信臣

若田九左衛

公氏

高澤源

右物病氣形之通西役
沖先年分乃之就相制其為法原
弟之有餘回序列庭回人下後
伴以物為載

此後施業

三浦書長

小野寺傳

伴 勘七郎

法原亮

右大真法候後法沙用物在勅

右方指同席同人今後其成爲難哉
不若法婚古及連居也

同之致 村松吉房

右沙原友人足重方未肯形能
相和亦未肯就同席同人今後
作成拘於戴之同人今連居也

野中吉房
長沼子吉房
任友金十郎

右大由矣由候後沙用能古初也第之
自能同席同人今後作成拘於戴之
居重方未肯就同席同人今連居也
右之外 渡中結成不也

伯中吉當番之於法用有之難也初
物取伯中吉當番之於法用有之難也初
難也初物取伯中吉當番之於法用有之難也初

進之

奥取吉房 大沢隆之助

右能奥取吉房 仍肯也
中廣式信番
濱中全三郎

同出及免
今田重吉
相田新太郎
山中隆吉房

右能奥取吉房 仍肯也
於燒方之酒井石月友房
大津孫次郎

同之致免
依地源藏
板井子平次

右同沙用相初肯也
日人吉房
日光法乃沙用相初肯也

一 九寸付之右京方史物並如左

二月九日

菅房

戸田因幡守

松平肥後守

松平下總守

松平陸奥守

右為御許御座也
撤於例席油包中法衣等

高北守保守

遍覺院

右願字也

信符之旨能許白書流此海縣法衣中
列座右系其末中後

表出右守他記

玉正守中助

出法施生事等

鴻年人記

品介志一通出更言一候之下

並一通法役授御

右は 信符之旨能許右京法衣御座
列座同右同介後之旨其末中後
侍座

而士見

右京守

右京守

戸田大進守他

之橋友士郎

出法書通

並一通出初右守

右は 信符之旨能許御座
列座同右同介後之旨其末中後

松平信房守

大右衛門

信房
信房守

右於檣之向回人十後重書後
洋紙為其載之

右之外 殿中給儀合紙以上

此云

一 附十日月以海紙之儀之圖有在紙中

有之旨也

一 九寸附通右系之史近也之旨也以上

二月十日

助書

松平右近將監

佐藤定頼

植村九郎治

右代

植村九郎治

右於兩氣紙之通法後

沖光之旨也海紙業初為海紙

右系之史十段之旨也外中由是

一 林百助月之儀紙有之能例席

仙舟陣書本

右之外 殿中給儀合紙

中取法當番之紙也中取中難取

法初初紙由海紙之助之儀也紙

法用有之難相初紙由中取中難取

乃其由海紙之助之儀也紙

此去今日由中取相初之儀也紙

中之紙以上

此云

一 海紙紙之旨也社中紙法用有之

此云紙之旨也紙之旨也紙之旨也

大目付者下之旨也紙之旨也

八寸附通右系之史近也之旨也以上

右於
所前以修之

月夜德九

急

松平左衛門

右於石七文純紙等飛並以通
送紙之相違以不並之旨於
彼之寫法中列在左末更
中後

九鬼録吉

急

九鬼冲智

右於石七文式相違於並道
送紙之相違以不並之旨於同席
列在左末更
一 明十午申時之由修持之旨
便法是也
版以自山本志列在左末

右之外 殿中修紙石中

此旨

一 本付石七文式相違於並道

二月十日 土井大炊頭

音信

今申時之頃石七文式相違於並道
前大付通紙中道以之旨
成也

上段松平同旨

松平左衛門

右於石七文式相違於並道

右之外 殿中修紙石中
申成有旨。右之通石七文式相違於並道
以後石七文式相違於並道

此旨

一 殿中修紙石中

此書法統書同人書後以明目之當者
備後書則卷之五之相為指之
此卷之五以相當取元中一也
右之外 殿中 坊後 取元中一
也

一九〇四年方系之更統退在元中一

二月十日 右田備後書

神庭之間

尾張中納殿

右之任大納言

一月次之法統相海

神白書院

法順

松平齋藤書

家智之法元

法元一腰
全之夜
法元之記
法元之記

肉友徳丸

堀田君之書

法元一腰
法元之記
全二枚

九鬼孫右

九白魁中務

千鯛二名

田村下總書

法元一腰
法元之記

山内平

碩子之由礼

遍照光院

一本一巻

系上

河部

通法寺

日次

入流之出札

依公

蓮花堂寺

松平藩屏書

而曾之書

吉人

吉全

外被之書

法勝寺

相公鶴堂八幡社

法堂社

法用

法信

法信

石野本藏

一 法信保殿之書上便之於大席下

右京吉吏

尾張大納言

右 法叙從二位有於西湖之間

法在中列座同今達之

一 尾張殿尾張中納言法信之書

於河内書院西出攝尾法殿之任

大納言並位階也 任出法信之任

尾法中納言看回外出札之任上

法在中出書也

松平澤全病

松平攝津守

右尾張殿之任大納言之任位階也

任出法信之書殘於大席下

法在中出書也

法信中納言

長谷部勘定

右尾法殿之任大納言之任法信殿

任出法信之書中上之書

之回法信中列座若京吉吏之任

水戸守相殿

右田之水云

右尾法敏法位階之為由法位先

上之於源朝之官同人等下也

一 河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

一 右京左史相後法位中列座法位

此法書有之字之通進之也

右之介 殿中給成石水之上

進也

一 右尾法敏法位階之為由法位先

上之於源朝之官同人等下也

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

一 右京左史相後法位中列座法位

此法書有之字之通進之也

右之介 殿中給成石水之上

進也

内藤種九

法位書有之

三月十日

大同

法位書有之

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

一 右京左史相後法位中列座法位

此法書有之字之通進之也

右之介 殿中給成石水之上

進也

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

名代

河野作左衛門右衛門平藏法位初於

更其官之官源朝中列座法位

右八幡所新法所傳復為助成初記

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

播磨

河内

表出者書銀

依野分宛

右組中川後方之... 旅中之向
同人中後之... 旅中之向
右之介 殿中銘後水原上

一 右系之史... 替取形... 在且...
取後之也

一 九寸付之同人... 是出... 在... 之

江中... 之

二月十日 井原... 之

出在... 之

田竹文... 之

田竹文... 之

車馬院者

左大... 之

山崎武部

右左... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

此... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

一 右左... 之

一 九章附之正白人純是聖君之以上

二月十九日 音番 秋元但馬守

所定之向

尾張大納言
此言一腰
共合出校
編抄下七
法百十是 常氣

一 尾法殿湯灌之法長強能

神白書院而由極類法卷中
掛出同以

一 尾法殿使去之能強能之有在系

太史以
宣之書書長後以

東極保極言

右保之純言為河黑書院偏
法卷中列座止在出以

大坂出同書式

七尾市之庭

右純海府回席出氣中列座出紫

松本惣書房

右相列錯圖法神宗之介法
依後為法用在法以有下之書

於出右業於有海於右第古史中
法法依物法載之酒并右因古傳是
素奈保極言百連在出以

遍照光院

右記柳之右同今後洋紙類裁之
右之介 殿中督使市西之上

造二

津波

鈴木清佳

右記表層紙之通收紙 下

所記事方之通初之弁為密書

引在右倉井後取之通紙

同之夜

高井甚次郎

右相列病岡信勝社法堂社法修後

酒井右見友之通紙

右記表層紙之通紙

右記表層紙之通紙

右記表層紙之通紙

右記表層紙之通紙

右記表層紙之通紙

二月廿日 井上河吉

今物上野

有徳院棟 津雲茶

村上三才所

根卷甚次郎

尾井能光吉

右甲品川公法書法中子傳記
任中子旨終岐之方法中列是
主殿政友之任後

法目下

山川下徳吉

右同外所用捕中

任中子旨終岐之方法中列是
同者法目人之任後之為年書元
侍庭

法目下

藤合源八

名代

日下十郎房

右物病中形之通所改

中免之旨於同席列在日書因人
之任後

一 細川兼中書以富次中書

右物病中形之通所改
志下朝二名者上之能松之回
由同人中書

世々

一 日記台止之書中入留遠終之去後
一 九年時是廣所地運出而小之

三月廿六日

吉吉

阿波傳中吉

松平旺源吉

井伊直義

松平小徳吉

松平強河吉

右為得濟城跡也

城之例席出包中書也

一 右京吉史相渡在之松平對列也

相違不注書并一室通分
一人由加増為改改由同列格信
強信也

右ノ介 殿中移後不取
進

一 右系之史と同格及古通及古格
一 右系之史と同格及古通及古格
一 右系之史と同格及古通及古格

川紙巻上

一 九才付方之殿既就退分在取不以上
一 九才付方之殿既就退分在取不以上

一 九才付方之殿既就退分在取不以上
一 九才付方之殿既就退分在取不以上
一 九才付方之殿既就退分在取不以上

二月廿四日 田因幡

今朝上新
孝美院様 清靈前
所念代酒丹石月名未信

此勘定但取
友中書之

右ノ 傳ノ 旨於此右業初在源頼
法包申列原右系之史一取一者尔
任信書言連取也
右ノ 介 殿中移後不取以上

一 増上寺
右徳院様 所置書儀法儀出等

此押印法多法相取多経国防より少なき
松平討公より少なき

一 右系より末九本より本十日替案のり本八日
改訂あり少同入より少なき

一 因防より表門系主金向修儀出本より少なき
少のり系主金向修儀出本より少なき
替案のりより同入より少なき

一 本替案より本系より文化選本より少なき

二月廿日

書番

六升大炊頭

共反

立后相海より為出後儀改尾尾法度

水戸殿尾尾法度より改訂より少なき

御印より同右系より少なき

一 清轉印より為法改儀因防より少なき

同列拓法より少なき

右より外 殿中替改より少なき

法番替改より今日替改より少なき

此より

一 今因防より及出但事より主替改より少なき

一 九出付より本系より文化選本より少なき

二月廿日

書番

七改史法書

今朝上野

主心院様 清聖茶

清公代酒升と飛澤書系法

右より外 殿中替改より少なき

此より

此花

万葉市在也

因防より

秋野仁信馬

富安本系より少なき

右より 任背より少なき

右ノ外 殿中修儀ノ事以上

遊云

一 伊弉諾伊弉册中納言殿尾法中納言殿使
 氏之法用着申進程申候者候者候者候者候者
 備候候候候候候候候候候候候候候候候候候
 先例候通致致同人同人同人同人同人同人同人
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 目録表出申候

一 法老申方申 申候申候申候申候申候申候申候
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 同人同人同人同人同人同人同人同人同人同人

一 我初後上候 申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候

之月共白

井原公親申

一 月法中納言殿 申候申候申候申候申候申候申候
 一 尾法中納言殿 申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 一 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候

今之反

國初伊弉

名代

西宮公方

右候者表形 通法者
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候
 申候申候申候申候申候申候申候申候申候申候

一 尾張殿出言後、之為正役、不似元中
出振法、因縁、相成、

右ノ外、殿中、後、及、不、形、
右、廻、將、監、上、方、事、者、今、日、抄、之、初、也、

送云

四條目録

之宅、控、牛、所

坂尾、二、面、助

山本、貞、左、衛、門

木村、右、左、衛、門

栗田、依、十、郎

今、年、未、也、

左、甲、辰、月、之、法、善、傳、力、世、用、事、付、

中、後、也、

一、之、尾、張、殿、之、為、付、由、縁、之、形、也、

以、此、何、事、也、

一、例、之、通、言、象、法、元、司、後、元、也、

一、其、時、之、方、亦、未、及、退、出、付、也、

二月廿九日

考書 牧野、蓮、若、

永井、仁、海、

本、堂、仁、海、

右、之、二、條、統、教、是、於、山、吹、之、向、

法、院、中、列、在、右、左、之、末、也、

右、之、一、條、統、教、是、於、山、吹、之、向、

法、院、中、列、在、右、左、之、末、也、

右、之、一、條、統、教、是、於、山、吹、之、向、

法、院、中、列、在、右、左、之、末、也、

上、使、田、信、實、

松、平、肥、前、

右、統、教、之、所、也、

右、之、一、條、統、教、是、於、山、吹、之、向、

法、院、中、列、在、右、左、之、末、也、

送云

一 九月付之... 友友... 宛宛...

二月日

安友封馬書

山全十夜

宮原和泉書

左記

沖庭... 向來...

位出... 且物...

左記... 友友...

右

佛以院

沖賜... 友友...

一 明教... 友友...

常... 友友...

一 右... 友友...

相生... 友友...

遊

大正卯...

志野...

永升...

太田...

國本...

辰巳...

同
聖徳太子御宇

赤坂清之丞

馬之庭鑑八郎

右の如く有る旨に於て是れは
列産長倉丹波友の如し

清和

推公保隆

二六代

野上孫助

右

孝恭院孫

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

一
河野左衛門尉兼少輔

卷上

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

河野左衛門尉兼少輔

之月

四月廿四日

内務省
公事

松平因幡守
加納遠江守
庄田因幡守
高井公儀守
牧野大膳守
安友源兵衛
素原伊兵衛
陸川相模守
政部玄部

法勝寺

系上

大坂町

系格

法勝寺
法馬代

国東

仁正

村上

法代

根岸

同

法代

坂城

甲別

山川

大坂

上尾

今
時
二
時

法次

系上

松本

少

本

同

具

法綱

関

仕

在

中

同

上

同

法代

宮

何久澤清為

大田垣友文

比南間助為

正木重吉

服部十三坊

入沖之英

沖里書院法勝寺

村田直家

一 延化保殿之英上使公於大席下

因防殿之英上使

一 松平肥前守法元之在疏解御書院

出縁法元中出直也

一 伊達遠守松平因院法元相於

同席出先中列座法元

松平後海守

一 右紅紫山上野塔上寺

沖素清之英向後

沖先之相初言於法元書院而

列座因本因防殿中出直也

時法元

松平河内守

名代

色村早雄守

大久保加賀守

名代

柳林保野守

土居健治守

名代

松平河内守

松浦重政守

名代

同日

同日

同日

松浦大智

右之物 右国書院所藏之書
法手傳相仕包有片々之書
冲白書院所藏類列在国書院
中書院所藏類
一 山以下紙首有从相於其書卷之圖列
回和紙載之書事上可先侍元
一 村田重祿所藏類列在国書院類
同人等所藏類之傳在国書

全之校

村上三才郎

同之校

根岸九郎左衛門

右国書院所藏之書法手傳相初有
為出原在書事上之書於其書卷之圖
沙老中列在国書院所藏類
之傳在国書

此代官

全之校

飯塚信三郎

右国書院所藏之書法手傳相初有
為出原在書事上之書於其書卷之圖
沙老中列在国書院所藏類
之傳在国書

此言

- 一 見此之書之書付大層連列其後也
- 一 見此之書之書付大層連列其後也

目録

井伊直孝

目録

上坂大膳

代

大澤下野守

松平右近將監

代

上井大膳

目録

目録

田舎
沖奈佐

田舎
備前

代

小倉系相續書
公行

保科源兵衛

右白 領旨之旨 移美吉之向山等
列在右系系友友之代

法目

山川下法書

右白 甲列月之西書法而後是
并於新書亦希酒内人清未未未
未未未

大史書

松原佐平

権左之助

公行

伊丹右三郎

右松老表形之通法役

沖光年表形之松相初之右松表

長之右松表之表形之松表

松老中列在法目下之右松表

右之介 殿中松表之右之

此書

一日光

沖光代法目之右松表

松原佐平

沖光代法目之右松表

日月之日

右書

松元揚律書

法目

松原佐平

小原源兵衛

長滝源兵衛

川口八郎

全二枚
時辰二

山初定味方登

久住之節

支那助之

全中より

石寺本七

加友吉之節

坂浦右之節

右新後園村ノ換地ノ庄用ニ至リ月
ノ下ニ旨能ク庄ノ為ニ於テ庄ノ換地ノ為ニ
中ノ減減ノ為ニ於テノ酒井ノ庄見當ノ為ニ
於テノ得受古金高ノ為ニ於テノ連庄ノ為ニ
右ノ外 殿中ノ終成ノ為ニ於テノ

此言

此元

筒井内元

田口長十所

福園寺元

右ノ 仁丹ノ旨能ク庄ノ為ニ於テノ酒井ノ庄見當ノ為ニ

遠江友ノ為ニ於テノ

一 九ノ寸ノ付之庄用湯屋地退庄ノ為ニ於テノ

四月冒

吉番

井上河内

菊ノ間

跡目

此言仔細

野ノ山孫之節

元方庄用

野ノ山信之節

元方庄用

武田八蔵

元方庄用

上田忠十所

此言

戸帳簿人

元方庄用

石川千之丞

公代

小倉原孫太郎

同人其他

丹羽洋南

右 仁曾之旨 法亮中列座
因 瑞書之儀 差年長方在侍座

瑞書之儀

法亮中列座

重本在末席

右 同人中 後之儀 座同和

右 之外 殿中 後之儀 座同和

一 九書 同之儀 瑞書之儀 出座 座同和

四月廿日

吉野 土井大炊頭

大坂近衛之儀

右 瑞書之儀 瑞書之儀 出座 座同和

瑞書之儀

瑞書之儀

瑞書之儀

公代

瑞書之儀

同 大助

同 永井隆和之儀

瑞書之儀

公代

大久保八郎

實子也

同 三之節

同 72年之辰也

東極

名代

川口勝

實子也

同 秋之節

同 用人之節

武藏孫

名代

中川

實子

同 源之節

同 信田

加友又

名代

横山

實子也

同 備之節

同 三川

廣友

名代

本目

實子也

同 永吉

同 中山

石丸

名代

遠見

實子

同 七所

同 信田

茶鴻

名代

行園

表子

同 實之冊

同 尚切在居之元

表 傳之冊

表代

大橋合之冊

實子如所

同 源之冊

同 松平石原之元

系川在居

表代

於海少之冊

實子如所

同 富藏

同 水井盤物之元

上村傳之冊

實子如所

同 新之冊

右之江 傳之冊 列在居 同 系川在居 及
左之江 傳之冊 列在居 同 系川在居 及

同 源之冊

限居之冊

同 著法之元

村田在居

同 實子如所

同 秩之冊

同 松平石原之元

津田傳之冊

同 實子如所

同 右之冊

同 白須早之冊

林尔易之冊

同 實子如所

同 表之冊

向井在居

表出之冊

定時不為人
以行

山野友信
白石八之助
同 幸八

右 佐竹 貞賢 貞良 貞重
佐竹 貞成

河野信清

右 牛久保 貞吉 貞重 貞隆
新着所著 酒 貞吉 貞重
清 貞吉 貞重 貞隆
右 牛久保 貞吉 貞重 貞隆
遠江 貞吉 貞重 貞隆

出 貞吉

源 貞吉

本 河野 貞吉
在 河野 市 貞吉
同 貞吉

- 一 右 牛久保 貞吉 貞重 貞隆 貞隆 貞隆 貞隆
- 一 安 貞吉 貞重 貞隆 貞隆 貞隆 貞隆
- 一 主 貞吉 貞重 貞隆 貞隆 貞隆 貞隆
- 一 貞吉 貞重 貞隆 貞隆 貞隆 貞隆
- 一 貞吉 貞重 貞隆 貞隆 貞隆 貞隆

貞吉 貞重 貞隆

日光 貞吉

右 貞吉

孝恭院様 西行春法書
相承の旨の後、自法承意より
任付の旨又、西行春法書より
任付

西行春法書
西行春法書

一 西行春法書 西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行

一 西行春法書

一 西行春法書

四月十日
右田備後守

右田

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

西行春法書

一 西行春法書

西行春法書

明日、當番備申取之儀合付
別相候也

一 大層遠品相候申書付、字一通
進、候也

右、不 殿中御殿、候也

貴布衣、為申書、候也、御
以上

此言

沙番候所

吉田元平

右、日光法門、御申書、候也、御
申書、御申書、候也、御申書、候也

一 昨日、日光法門、御申書、候也、御
大層遠品、候也、御申書、候也

一 明日、右、申書、候也

一 城、御申書、候也、御申書、候也

一 明日、麻上、御申書、候也、御
一 因、御申書、候也、御申書、候也

一 城、大層遠品、候也、御申書、候也

一 相、御申書、候也、御申書、候也

一 明日、日光

一 許、御申書、候也、御申書、候也

一 本、御申書、候也、御申書、候也

一 出、御申書、候也、御申書、候也

一 別、御申書、候也

一 御申書、候也

一 右、御申書、候也、御申書、候也

一 御申書、候也

一 御申書、候也

一 御申書、候也、御申書、候也

一 御申書、候也、御申書、候也

一 御申書、候也

一 御申書、候也、御申書、候也

一 御申書、候也、御申書、候也

一 御申書、候也、御申書、候也

一 御申書、候也、御申書、候也

一 御申書、候也

一仍列々を敷出氣有るは乃々以後
若し其の候に出来ず遠く官
事にては乃々より細く進んで
之れ也

四月七日 大目付

列儀
甚上
大目付

四月八日

日光法門の古卷を
浄土書院

浄土書院

六角越書
中條大和
堀田相模書
牧野豊書

右へ通るは初は麻上なるは
小目付が扱はるる候に

四月十日 雨着
井伊義範
沖野へ回

日光寺
浄土代

今更
時信二
上波大膳

四月十日
浄土代

時信云
時信
松平左近将監

四月十日
浄土代

時信之
時信
堀田書
堀田書

右法服
日光寺
日光寺

右進、法光、山且又當二月
考美院檢法法及相海中有
沛對於之後放法皇志書院沛
答復

一 沛皇書院
出沛信正院家法引當之不
知家中坊官家司司未
沛同見者

入沛出後於岸、法料理不
一 今日法表口口花

出沛、有法尾法殿水戶殿尾外
中將殿、有法上使法化法殿使法
在法於法、回法法、
一 右同、有法化法、
附在法於法、回人、

一 去及右、法、
於法、回法、
一 法、

一 明九日尾法殿法光
城於

沛府、回目光、
法、
回人、

一 沛、
右、
法、

沛、
法、
今日、

一 今日、
法、
今日、

右日光寺... 浄土宗... 浄土宗... 浄土宗...

浄土宗

尾張大納言殿

右

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗

浄土宗

浄土宗

浄土宗

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗

浄土宗日光寺... 浄土宗...

四月十日

浄土宗

浄土宗

浄土宗

浄土宗

浄土宗

浄土宗

浄土宗

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗日光寺... 浄土宗...

浄土宗

右邊之東乃北苑後是於河内之國
因防身也書未相後也

一 林百助因後之諸侯之... 於倒布
何有能事之

一 明十百本守付... 法休持... 王子...
為法有野... 法為

或曰有大屋... 法... 中...
上使... 宗... 子

右林... 法... 任... 法... 時... 法...
法... 法...

右... 法... 中... 法... 法...
法...

一 法... 法... 法... 法... 法...
法... 法... 法... 法... 法...

一 法... 法... 法... 法... 法...
法... 法... 法... 法... 法...

協田相傳書版

河内備中書版

戶田因幡書版

松平伊豫書版

松平大炊書版

松平右兵衛書版

井上河内書版

秋元但馬書版

水野對馬書版

左田備後書版

安友對馬書版

青山大膳書版

牧野壹書版

牧野遠書版

井伊氣書版

松平幸書版

先上

送白

- 一 選評之選道節介月之通及在彼 中目見
- 一 中令之通抄之書八時在在初之在付因路之
- 一 就退出引之在初以之次合之在押合之在次
- 一 右系之在右
- 一 送評以在初選道在初之在

四月十日

右田伯儀書

今朝增上寺

津西聖宗

津松代松平右系之更系諸

津府之回

津役監

津書院書

高升之在初補任之次

中島右兵衛

河野勝右衛門

高合之在初

松浦之在初之在初

小太人頭

松本左兵衛

津松代松平

右記

津松代松平

有馬之在初

右記系初之在初補任之次

右記系初之在初補任之次

右記

右記系初之在初補任之次

佐野之在初

右記系初之在初補任之次

右記系初之在初補任之次

右記系初之在初補任之次

右記系初之在初補任之次

右記系初之在初補任之次

右記系初之在初補任之次

城ノ別荘水鏡例ノ事有申上
右ノ事 殿中務殿申上

此云

一 奉付用物品控退付申上

監査人 南左

古社奉行 南左

右目付 南左

明ノ旨有申上ノ事 在座所給付申上

出用申付 南左

撤出申付 南左

四月十日

四月十日

吉島 安友村馬吉

水戸守 國慶家光

伊友 勘定

尾張大納言 家光

下條 家光

中納言 南左
沙書付 南左

北條 家光

右 今度奉申上 改元治系 於此進上

天明ノ旨有申上 向因 南左

右 撤出 南左

上野 院

佛 院

右 因 南左 向因 南左

右 因 南左 向因 南左

右 因 南左 向因 南左

水 戸 後 尾 張 守 南左

撤 出 南左

右 因 南左

水 戸 後 尾 張 守 南左

撤 出 南左

右 因 南左

水 戸 後 尾 張 守 南左

織田 友 南左

右尾港殿今朝日光先物出候事
右尾港殿今朝日光先物出候事

一 出向由渡船等々候筋列出向事
一 出向由渡船等々候筋列出向事

一 因入見物見出向事
一 因入見物見出向事

上使松平左衛門

松平内藏

右尾港殿今朝

右尾港殿今朝

此旨

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

此旨

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

一 今朝日光先物出候事
一 今朝日光先物出候事

中々事書表白之折中

天明

此旨

松平内藏殿今朝

松平内藏

今朝日光先物出候事

今朝日光先物出候事

今朝日光先物出候事

此旨

今朝日光先物出候事

四月十日

松平定房

主人

松平定房

右相中川俊成より松平定房へ
用務取次等御用度御取次等御用度

伊豆守御用度

御用度

松田又右衛門

御用度

中川俊成

御用度

大田昌高

元ノ

松浦清高

御用度

安部少平

松平定房
御用度

松平定房
御用度

松平定房
御用度

松平定房
御用度

松平定房
御用度

御用度

堀池友重

御用度

小嶋少左衛門

大嶋昌高

御用度

松田又右衛門

御用度

中村半左衛門

松平定房

御用度

他田隼人

御用度

水野主平

本条勇馬

元ノ

松平定房

松田又右衛門

法二十段
叶時之三
叶成

法十段
叶時之三
叶成

法十段
叶時之三
叶成

法二十段
叶時之三
叶成

日外元

法十段
叶時之三
叶成

為之

中村吉之丞

岩田南堂

目録

下法守之丞

山原吉之丞

為之

馬場吉之丞

高木孫兵衛

澁川定之丞

江戸澤之丞

長瀬河守之丞

為之

上田内純

為之

林錦之丞

元大同元年

長瀬河守之丞

遠水倫作

廣園吉之丞

為之

用人

中山百助

為之

板本助之丞

中野辰之丞

為之

源波吉之丞

板本助之丞

原悦吉

為之

福園吉之丞

島山園之丞

之宅友之丞

大久保吉之丞

為之

法三夜
時辰三
羽成

信守行
岩波織物

法三夜
時辰三
羽成

元善法守行
石東堂屋

法三夜
時辰二
羽成

志谷合屋
山下守屋

法三夜
時辰二
羽成

全成洋行
夏浪新屋

法三夜
時辰二
羽成

河村主丸
酒井右衛門

法三夜
時辰二
羽成

三敬中織物
山下守屋

法三夜
時辰三
羽成

山田公常
西川源屋

法三夜
時辰二
羽成

用人
波多野屋

法三夜
時辰二
羽成

山村日
奥友屋

法三夜
時辰二
羽成

橋山園吉
菅原屋

法三夜
時辰二
羽成

池内甘房
熊澤屋

附錄
三

附錄
八

右圖案節川之沙多法知用
其初乃在後天亦有其始
右圖案下後有後天

一 昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之

一 昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之

一 昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之
昭示月以之沙礼示之

昭示月以之沙礼示之

昭示月以之沙礼示之

昭示月以之沙礼示之

在江卷香在江用銀紙
冲亦在 伴月也

金馬代

善了結年
一箱一箱

和紙一箱

右 冲月見

一 日見... 冲月見

一 日見... 冲月見

一 日見... 冲月見

一 日見... 冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

冲月見

一 中門内 藤原家 藤原氏 藤原氏 藤原氏
此家 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 明日本元 藤原氏 藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

右 藤原氏 藤原氏 藤原氏 藤原氏

石介 原書若成之也

此

- 相馬自備之勅... 札被而物... 其令... 石介... 一 石川... 一 石川... 一 石川... 一 石川... 一 石川... 一 石川... 一 石川... 一 石川... 一 石川... 一 石川...

四月廿六日 松元柳澤

明主七月... 石介... 原書若成之也

- 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介...

石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介... 石介...

河内道清良公孫孫列下如右初
去及皇太子即位後其子孫孫
河内氏上之尊稱也其子孫孫
其子孫孫也其子孫孫也
其子孫孫也其子孫孫也
其子孫孫也其子孫孫也

四月廿五日

今春將首領出山
所定上條奉承列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下

一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下

河内道清良公孫孫列下

本今日初
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下
河内道清良公孫孫列下

此

一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下
一 河内道清良公孫孫列下

拜中分 牧野正信
拜下末

拜中分 拜下末
押合後中分 本村正信

以成成改世之流各日之信

向古以初日信

向古以初日信

向古以初日信

二月十日 日向相模守

合取 有馬宗經補

在事終下 印使居居在誠也此在後

一 印使居居在誠也此在後

中將居居在誠也此在後

向古以初日信

向古以初日信

向古以初日信

向古以初日信

海府有於前幕本乃酒在幕又文意
しん

在幕幕幕幕

幕幕幕幕幕

日田幕幕幕

幕幕幕幕幕

日田幕幕幕

幕幕幕幕幕

日田幕

幕幕幕幕幕

日田幕幕幕

幕幕幕幕幕

在幕幕幕幕幕

一 明幕幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕

一 明幕幕幕

幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

世

一 明幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕

一 明幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

一 明幕幕幕

幕幕幕幕幕 幕幕幕幕幕

幕幕幕幕幕

官日 牧師

今中府道工部

大藏院林 中置示

中書清中林院在官中府之在

選部

中書一官院例布以成政

中書見

選部一官院例布在官

一今相上布

有德院林 中置示

中書一官院例布在官

口訓

大藏院林

中書見

中書見

在相上布

中書見

一選部一官院例布在官

尾張中府院林 中置示

紀江院林 中置示

中書見

一在相上布

中書見

中書見

一在相上布

中書見

中書見

一在相上布

中書見

中書見

中書見

中書見

中書見

中書見

中書見

此

一 新... (vertical text)

一 九... (vertical text)

軍

白

大...

中...

出...

大...

日

指...

日

阿...

口...

花...

訂...

石...

江...

多...

編...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

佛...

松...

分後三
張三
張三

津津但馬
九鬼長門

日

伊達和泉

信後三
張三

毛利大和

信後三
張三

池田信隆

信後三
張三

山内相模

日

一柳玄俊

日

迫及海部

信後三
張三

南紀大和

日

高井信光

○

大版定休七日
二年十一月
一日
即日見

松原在
多
如

打本

二人

奥村

信

信後三
張三

身行用
松原在
多
如

打本

二人

米田

大町

打本

二人

押
信後三
張三

既為一

酒井外記

日行

長部左衛門

一 抄本如賀子抄本或古抄本之類
一 抄本如賀子抄本或古抄本之類
一 抄本如賀子抄本或古抄本之類

法古在取
抄本在取

上條田江左衛門
傳阿原左衛門

日行

日抄本在取
抄本在取

法古在取
抄本在取

日抄本在取
抄本在取

日行

日抄本在取
抄本在取

法古在取
抄本在取

日抄本在取
抄本在取

在取抄本在取

一 既為一

一 既為一
抄本如賀子抄本或古抄本之類
抄本如賀子抄本或古抄本之類
抄本如賀子抄本或古抄本之類

日行

日抄本在取
抄本在取

日行

日抄本在取
抄本在取

永田法隆寺
新見隆平寺
三井寺
三井寺

与別田洋馬
中村之左馬
水谷洋馬
石陽洋馬
村上水馬
酒井公馬
河野勘馬
新見勘馬
石谷洋馬
少神洋馬
坪内之左馬
志升之左馬
松原之左馬
中田之左馬
車原之左馬
三浦之左馬
石坂之左馬
中野之左馬

押田之左馬
石田之左馬
大井之左馬
長谷之左馬
中野之左馬
中野之左馬
岩合之左馬
平塚之左馬
三浦之左馬
松原之左馬
村上之左馬
酒井之左馬
三浦之左馬
佐野之左馬

佐野之左馬
佐野之左馬
佐野之左馬

三浦

石丸屋虎造

三田屋与兵衛

大庄司

松浦与兵衛

山崎屋与兵衛

三田屋与兵衛

日

山崎屋与兵衛

日

松平与兵衛

日

大園与兵衛

日

水師与兵衛

日

三田屋与兵衛

日

三田屋与兵衛

日

中山与兵衛

日

松平与兵衛

日

三田屋与兵衛

日

浦野与兵衛

日

三田屋与兵衛

日

山崎屋与兵衛

日

三田屋与兵衛

日

三田屋与兵衛

石丸屋与兵衛

一 細川与兵衛

十三年之佐吏止其為代派子二年放
溜炒干去其行交之勤之積物自其後
之存之用物之及以之海不物之固控之同
物一物一物日派湯

一 年山直江之河方馬代派子之及海後之
海後如各之少方馬代其全在直海而之
市下之海之中方馬代派子之及海後之
御田之海之派方之代派子之及海而十之
五年甲申之及海後之山直江之河方馬代
派子之及海後之元儀之經理河方馬代
派子之及海後之元儀之經理河方馬代
派子之及海後之元儀之經理河方馬代
派子之及海後之元儀之經理河方馬代
派子之及海後之元儀之經理河方馬代

一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代
一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代
一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代

一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代

一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代

一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代

一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代

一 河經居南神功之及海後之元儀之經理河方馬代

河經

貴人

相平和泉守
相東丹後守

訂部能全守
收野備前守
石込役儀物云羽
願奉願
望

買月五日
南古
弁大炊次

中屋間

西美多若者

日 日 日
松平和影守
稻葉丹後守
訂部能全守
收野備前守

出書院古
三平定頼捕頭
花村前信

日 日 日
日 日 日
出書院古
三平定頼捕頭
花村前信

石込
訂部能全守
作分

訂部能全守院

海守也
張守也
張守也
張守也
松平和影守
松平和影守
松平和影守

子庵子庵
張子作

君村付四
月

出
上

日
月

押
張子代

住
張子代

瓶
張子代

日
月

一 松平加賀守以美誠亦為德信在張
於席上出中江在云

一 南野殿主人急事社令与活順物

在佛台書院流蘇款沙若茶山由碩氣

張
張子代

日
月

張
張子代

日
月

張
張子代

一
月

在佛台書院流蘇款沙若茶山由碩氣

市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事

張
張子代

日
月

張
張子代

日
月

張
張子代

日
月

張
張子代

日
月

張
張子代

日
月

張
張子代

日
月

張
張子代

日
月

張
張子代

市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事
市使見一人云此亦有因防事

厚平宿帳石版片

進

前丸

家書

此

平向家書

古久保法書

文合

永田法書
本因書房
新見源次
三井中法書
三井中法書
三井中法書
中村法書
水谷法書
石陽洋行
村上法書
酒井法書

河本勲法書
新見勲法書
石谷勲法書
小野勲法書
坪内勲法書
海井勲法書
松原勲法書
本因勲法書
末原勲法書
三浦勲法書
石丸勲法書
中村勲法書
押田勲法書
本因勲法書
本因勲法書
本因勲法書
中村勲法書

沙水

渡川久物

藤合古橋

平塚平市

三橋安市

佐藤安市

村上端市

依田安市

三木貴松

佐野安市

三枝安市

和田仁市

小島安市

小島安市

小島安市

細井安市

細井安市

細井安市

細井安市

渡河他市

大島七市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

水島安市

長門無所

新見電之助

早見流

早見流

早見流

乃升角吹

早見流

早見流

早見流

長升又吉印

右記其日 任月

一 細川氏... 長升又吉印

一 長山... 乃升角吹

一 乃升... 長山

一 乃升... 乃升角吹

一 乃升... 乃升角吹

一 乃升... 乃升角吹

高帝... 同入

一 是方... 同入

冒失言 訂那信中言

松平肥後言 松平德川言

右若... 同入

智廣流矢

右... 同入

同 訂那言

右... 同入

右... 同入

松浦忠兵衛

右... 同入

松浦大藏

右... 同入

松浦大藏

右... 同入

石川

伊達遠河

中野

津右衛門

昭

松平安房

日

松平出守

日

上野守

日

友重

日

丹波加賀

日

南部大膳

日

松平備後

日

仙石

日

箱根

日

相良

日

六卿

日

毛利

日

沼津

日

毛利

日

田村

日

松平

日

松平

清水理信

日

牧野忠常

日

久保忠尚

日

菅田重房

日

三宅源清

一尾波殿

中村秋波殿所稱御書御筆
清光御書御筆

一以

上條中殿亦今日御所
御書御筆

御書御筆

陣後大

安及洋泉所

右園東御中列川
御書御筆

相勅以丹乃西條
御書御筆

上列在河本園
御書御筆

御書御筆

御書御筆

全五枚

山内中总与

御書御筆

日十枚

过 左原次

右列川
御書御筆

御書御筆

御書御筆

御書御筆

一有島中務
御書御筆

御書御筆

御書御筆

御書御筆

御書御筆

御書御筆

御書御筆

進

冬

平河

町長門

右記更に 作付也

一 見方より書付大層多列上書人

一 其之因傍に御延出に記す

甲月廿四日

南吉

牧野遠口

今朝上野

右末虎振 中田雲平

中田氏に金持渡り書付

即座へ同

相定外日

松平右近将監

右 中田氏

平河

花村守直

右御中門渡り 於若澤 同因傍

一 御座若平易九侍所

右介 殿中官候 中田氏渡り

御座若平 今月物入相動 〇〇上

進

一 御座若平 御座若平 〇〇上

一 御座若平 御座若平 〇〇上

一 御座若平 御座若平 〇〇上

一 御座若平

一 御座若平 御座若平 〇〇上

甲月廿四日

南吉

中田氏

御座若平 御座若平 〇〇上

御座若平 御座若平 〇〇上

御座若平 御座若平 〇〇上

御座若平 御座若平 〇〇上

御座

一 大澤清也君が伊勢を信託して伊勢に於て
不慮に身が重傷を負ひて入会
御葬儀に於て同席別に在り同席同人
共々御弔ひ

尾張國三好郡

伊勢守 藤田

梅才内記

右記日先徳徳政身は存して於
謝儀一同以同人共々

辰

百鳥書齋

伊勢守

藤部 達

右記信了同席同人共々信了君が御
洋館に於て歿す

右記 伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢

一 今も只一人 伊勢守 藤田 梅才内記
不慮に身が重傷を負ひて入会

一 某日一日伊勢守 藤田 梅才内記
不慮に身が重傷を負ひて入会

伊勢守 藤田 梅才内記

一 日先徳徳政身は存して於
謝儀一同以同人共々

一 伊勢守 藤田 梅才内記

八月廿六日 伊勢守 藤田 梅才内記

今朝上野

至心洗杯 伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

伊勢守 藤田 梅才内記

右記
中記

作付

新島 芳太郎

中山 隆太郎

大場 敏彦

日 記

山崎 隆太郎

本井 平九郎

日 記

新島 芳太郎

右記 作付
中山 隆太郎
大場 敏彦
新島 芳太郎
中山 隆太郎
大場 敏彦
中山 隆太郎
大場 敏彦
中山 隆太郎
大場 敏彦

新島 芳太郎

中山 隆太郎

大場 敏彦

中山 隆太郎

大場 敏彦

日

新島 芳太郎

中山 隆太郎

大場 敏彦

中山 隆太郎

大場 敏彦

新島 芳太郎

中山 隆太郎

大場 敏彦

新島 芳太郎

中山 隆太郎

大場 敏彦

中山 隆太郎

新島 芳太郎

中山 隆太郎

大場 敏彦

中山 隆太郎

大場 敏彦

日

徳田氏

五水年人

大倉屋

長谷川

作

石

中

大

山

田

村

山

田

村

山

田

村

山

田

村

山

田

村

山

田

村

山

田

村

山

田

村

山

田

村

山

田

村

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

全三夜
時辰二元

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

全三夜
時辰二元

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

石田氏

同分味方後分

大島源三郎

老花助

柳田次郎

坂内重三郎

松原重三郎

森田重三郎

若尾次郎

上条重三郎

長平重三郎

泉重三郎

日根重三郎

秋田重三郎

和田重三郎

右園東御門（以下略）

為正（以下略）

細敷（以下略）

源守（以下略）

九郎（以下略）

布介（以下略）

進

徳

淡井平七

三浦十左衛門

大石重三郎

小川重三郎

若尾重三郎

津村重三郎

坂内重三郎

大島重三郎

川重三郎

田重三郎

石川重三郎

山上重三郎

三浦重三郎

石川重三郎（以下略）

進

一 此中... 一 此中... 一 此中...

四月廿七日 抄年言言

...

在国... 作...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

市ノ旨ヲ自奉同人ノ旨ヲ自奉
頂戴侍立同奉同人ノ旨ヲ自奉

謝儀ノ間

原在在智

中橋清三郎

三浦勘十郎

大森又吉

森田正人

岡本勘十郎

石上 作 伴 自 國 防 隊 長 官 任 命
以 年 奉 瓦 俸 元

俸 元 三 枚

俸 元 三 枚

俸 元 二 枚

俸 元 三 枚

俸 元 三 枚

俸 元 三 枚

俸 元 三 枚

南 野 隆 文 郎 采

泉 源 要 人

泉 源 要 人

植 松 七 郎

原 在 在 智

加 藤 利 吉 郎

中 村 江 市 郎

元 乃 乃

保 原 勘 吉 郎

岡 本

友 根 傳 吉 郎

村 松 桂 吉 郎

森 田 正 人 郎 采

森 田 正 人

布 部 勘 吉 郎

海 部 勘 吉 郎

布 部 勘 吉 郎

堀 部 勘 吉 郎

泉 源 要 人

泉 源 要 人

河 上 傳 吉 郎

用 人

右卷抄馬
收 庄藏

右列門の... 庄藏... 同卷文

一 明公日月... 庄藏... 同卷文

一 右列門... 庄藏... 同卷文

一 右列門... 庄藏... 同卷文

一 右列門... 庄藏... 同卷文

二月廿八日

庄藏

庄藏

庄藏

庄藏

庄藏

日

廣小室

日

長野

日

池田

徳三

石河

三木

賀洗

北

長崎

信

二

廣徳寺

入

廣徳寺

一

一

日

二人

佐友

日

江

中勝

長

知久雄

法

法

将

肩

信

江

長

日

長

日

長

同日
同日
同日
同日

同日
同日
同日
同日

一 住持江原寺 住持江原寺 住持江原寺 住持江原寺

一 板倉寺 板倉寺 板倉寺 板倉寺

大正五年
大正五年
大正五年
大正五年

一 石丸寺 石丸寺 石丸寺 石丸寺

一 有章院 有章院 有章院 有章院

一 中興寺 中興寺 中興寺 中興寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

一 淨土寺 淨土寺 淨土寺 淨土寺

弁
朽木修庵

一 商人商人... 商人商人... 商人商人...
 一 徳伊... 徳伊... 徳伊...
 一 相成... 相成... 相成...
 一 以... 以... 以...
 一 於... 於... 於...
 一 且... 且... 且...

一 日... 日...

一 中... 中... 中...
 一 以... 以... 以...
 一 之... 之... 之...

一 既... 既...

一 概... 概... 概...
 一 在... 在... 在...
 一 如... 如... 如...
 一 凡... 凡... 凡...

一 今... 今... 今...
 一 之... 之... 之...

一 且... 且...

一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...

一 且... 且...

一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...

一 且... 且...

一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...

一 且... 且...

一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...

一 且... 且...

一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...
 一 且... 且... 且...

日月各存 其存者如蒲

今中書府已廢上寺

有書院院中 市里亦

中書府舊址故城隍法中書府之在

還清候

中書府之在法中書府行東及

和國使公

還清候之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

一 中書府之在法中書府行東及

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

有以用者

田原主殿
松平恒定
土岐重頼
石谷清経
曲淵甲斐守
松平伊豆守
山村信康
井上国直
安友全島

中馬
羊子

有以用者 南書
秋元恒馬

中馬
山原之間

中馬

松平中馬

中馬

松平中馬

一月
日
松平中馬

松平中馬

松平中馬

松平中馬

松平中馬

松平中馬

松平中馬

松平中馬

一
松平中馬

一 同日...
 一 同日...
 一 同日...
 一 同日...
 一 同日...
 一 同日...

一 同日...
 一 同日...
 一 同日...

本國...

大目...

本國...
 御...
 御...

本國...
 御...

日...
 本國...

月
松平大膳
大指之三三信

日
松平大膳
大指之三三信

右組中門後方 於中 向中
到近 處 處 處 處 處 處 處 處
一 但 有 事 務 處 處 處 處 處 處 處 處
為 事 務 處 處 處 處 處 處 處 處
處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處
在 不 介 處 處 處 處 處 處 處 處

目録
松平大膳
大指之三三信

在 右 你 背 音 於 處 處 處 處 處 處 處 處
中 後 處 處 處 處 處 處 處 處

一 此 日 但 為 事 務 處 處 處 處 處 處 處 處
處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處
一 松 平 大 膳 之 同 人 松 平 大 膳 之 同 人

有旨 松平大膳

今 有 旨 於 處 處 處 處 處 處 處 處
處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處
處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處

一 因 防 及 防 之 也 松 平 大 膳 之 同 人
處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處
處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處 處

一 因 防 及 防 之 也 松 平 大 膳 之 同 人

正徳九年
右ノ事
松平右衛門尉忠直

一 此ノ如ク依テ毎ノ書信ヲ用事ノ事ニ及
御事ノ事ニ及テ三月日ノ事ニ及テ
對馬及カ係ル事

一 本州ノ事ニ及テ在テ正徳九年ノ事

松平和泉守
坂田相模守
町奉行備中守
町奉行備中守
戸田因幡守
松平伊豫守
本升大炊頭
松平右衛門尉
井上河内守

秋元組馬守
水野組領事
右田備後守
吉原對馬守
吉原大膳頭
吉原大膳頭
松平右衛門尉
松平右衛門尉
松平右衛門尉
松平右衛門尉

有吉
町奉行忠直

一 此ノ如ク依テ毎ノ書信ヲ用事ノ事ニ及
御事ノ事ニ及テ三月日ノ事ニ及テ
對馬及カ係ル事
一 本州ノ事ニ及テ在テ正徳九年ノ事

小川兼平所

小出若八

付 誠 記

松平法房

本安房

本多忠房

日友房

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

松平圓左衛門

一 日法方... 一 今... 一 符...

一 符...

七月七日

南音

大坂...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

中書省
中書省

一 中書省
中書省

一 中書省
中書省

一 中書省
中書省

一 中書省
中書省

一 中書省
中書省

一 中書省
中書省

一 中書省
中書省

六月廿八日

松原

田原

表使
中書省

育公
中書省

今朝上節

表古流極
中書省

中書省
中書省

右介
中書省

中書省
中書省

一 中書省
中書省

育公
中書省

八事取

日原英市氏

海老津市

中山江尾

右様お返願通り取
御免年おは進物お初にお喜
おし、分は右様おは海老津市
別荘にお取及おは海老津市
お升おは進物おは

おは

おは

右様お返願通り取
御免年おは進物お初にお喜
おし、分は右様おは海老津市
別荘にお取及おは海老津市
お升おは進物おは

おは

おは

右様お返願通り取
御免年おは進物お初にお喜
おし、分は右様おは海老津市
別荘にお取及おは海老津市
お升おは進物おは

おは

一 昨午の日月次漢秋一候之日月分おは

おは

一 右様お返願通り取

右月十日 右月十日

今朝おは

常言おは

沖谷おは

一 昨日おは

何おは

右おは

おは

一 漢秋漢本おは

一人おは

一 おは

十月廿一日 南吉 吉原野馬

今日 原野野馬

一 湯井祖王孫而升終履以六升柱也古語云
一 湯井祖王孫而升終履以六升柱也古語云
今日以後不揚之...
一 湯井祖王孫而升終履以六升柱也古語云
一 湯井祖王孫而升終履以六升柱也古語云

育之百 南吉 町新備中

今朝増上寺 中屋赤
中屋代村平右衛門次郎

中屋代同
中屋代

南吉

過 溪 齋 南吉

川村 斗

名取 斗

田一 斗

右 齋 南吉

中屋代同

中屋代

中屋代

右 齋 南吉

在平不 學中實然正心也
即誠亦有入今之道之應以退而後
去彼處之代金一也

此

- 一 聖學乃能得之乃在性惟物之志在正心一程一為
以正心之方之也中庸不物之功一程一程一
主敬在正心以性河法也
- 一 另致書信學問中一以夜夜能及公也
之乃公使也法惟字學內二卷中一也
而本乃文也切思一在學文上向人
若也
- 一 只性乃也一書乃之應道別也
- 一 在學文上向也
- 一 誠之乃也一之在神中一向上也
行亦之應以也一之在學文上向也
作合也

育一育 在學文上 亦大體

中樣總法上濟不也

運亦也

在平不 學中實然正心也
即誠亦有入今之道之應以退而後
去彼處之代金一也

此

- 一 聖學乃能得之乃在性惟物之志在正心一程一為
以正心之方之也中庸不物之功一程一程一
主敬在正心以性河法也
- 一 另致書信學問中一以夜夜能及公也
之乃公使也法惟字學內二卷中一也
而本乃文也切思一在學文上向人
若也
- 一 只性乃也一書乃之應道別也
- 一 在學文上向也
- 一 誠之乃也一之在神中一向上也
行亦之應以也一之在學文上向也
作合也

育才官 南吉 大田周清

今朝増上寺

沖田辰

沖田辰 中平人

田中一重

在津平山門前より於經路に
至るに及ばず後之を奉りて
一に寺有月沙の沙札に
尤方一に法札書同合度
南吉更後法合身別書
之の事口人との事

本介 野平寛之丞

一因防風物

一公付方之取

育才官 南吉 大田周清

月沙 南吉 大田周清

沖田辰

沙後

松平

相馬

相馬

相馬

相馬

相馬

日

日

洋子 御子

日

使僧 貴

日

使僧 貴

二程一高

一瀬勅信

二程一高

如長通中

日

同人

日

押

二程一高

日

森所記

友組

日

二程一高

友組

日

日

日

一尾張殿... 一細川...

不介 奉 敬 啓

此

- 一 日 陽 春 之 電 報 謝 意 等 語
- 一 日 經 方 氏 之 手 書 謝 意
- 一 日 寄 附 之 禮 物 等 謝 意 等 語

有 上 旨 松 平 吉 茂 氏

右 後 車 經 所 傳 御 旨 存 在 於 御 目 向 國 府 及 家 等 一 人

大 皇 殿 御 旨 細 田 忠 房 氏

右 旨 係 御 旨 存 在 於 御 目 向 國 府 及 家 等 一 人

大 皇 殿 御 旨 細 田 忠 房 氏

右 旨 係 御 旨 存 在 於 御 目 向 國 府 及 家 等 一 人

大 皇 殿 御 旨 細 田 忠 房 氏

右 旨 係 御 旨 存 在 於 御 目 向 國 府 及 家 等 一 人

一 日 寄 附 之 禮 物 等 謝 意 等 語

一 日 經 方 氏 之 手 書 謝 意

一 日 寄 附 之 禮 物 等 謝 意 等 語

一 日 寄 附 之 禮 物 等 謝 意 等 語

五月十日 南 左田徳俊

一 今書付前江東山

御書下

御書下 御書下 御書下

御書

御書下 御書下 御書下

御書

一 漢河江後為新法極端法中

尾中後為新法極端法中

御書

一 古物同の法紀便草御書

御書 御書 御書

御書

一 在舟大

西舟大 御書

御書 御書 御書

御書

一 漢河江後為新法極端法中

御書 御書 御書

御書 御書 御書

御書

一 御書 御書 御書

御書

一 御書 御書 御書

御書 御書 御書

一 御書 御書 御書

一 御書 御書 御書

五月十日 南 左田徳俊

御書

御書

御書 御書 御書

御書

御書 御書 御書

海山香中列名之殿長治屋

口文
印文

松平甲斐守

中某名殿長治屋
印文

大友内膳守

印文

中良長信守

印文

大友内膳守

右内侍純経若菜御殿
御使之下等之旨於同布列在回参
列在回参同人之旨候

右内侍純経若菜御殿
御使之下等之旨於同布列在回参
同人之旨候

右内侍 殿奉若御之旨兵部
右内侍 殿奉若御之旨兵部
右内侍 殿奉若御之旨兵部

右内侍 殿奉若御之旨兵部
右内侍 殿奉若御之旨兵部
右内侍 殿奉若御之旨兵部

一 行参之殿奉若御之旨兵部

有十九日 秋九日馬守

全三及
時三及

吉野信守

全三及
時三及

中井信守

全三及
時三及

三井信守

全三及
時三及

信守

全三及
時三及

今村信守

全三及
時三及

小寺信守

全三及
時三及

信守

全三及
時三及

久野信守

江中... 辰... 辰... 辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰... 辰... 辰... 辰... 辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

辰...

中野同

三野川邊
宮本和光

右
中野

中野

中野

新中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

右

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

中野

陽明洋行

百々共八

中書
佐倉海軍部

津島右衛門

津島右衛門

津島右衛門

日
津島右衛門

津島右衛門

日
津島右衛門

津島右衛門

日
津島右衛門

日
津島右衛門

津島右衛門

津島右衛門

東洋製糖

日
津島右衛門

津島右衛門

日
津島右衛門

津島右衛門

日
津島右衛門

津島右衛門

日
津島右衛門

日
津島右衛門

日
津島右衛門

日
津島右衛門

津島右衛門

日
津島右衛門

津島右衛門

津島右衛門

津島右衛門

津島右衛門

東洋製糖

和名

平井山

和名

小林

川

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

牧師藏書印

右丹波守藤原重房方印
藏書印印皆用相若及所形通

正長治書印

左田法印

右紀伊守藤原重房方印
法印印皆用相若及所形通
江作符方印同形在重房書
法印印皆用相若及所形通

正長治書印

左丹波守藤原重房方印

村上内記

右丹波守藤原重房方印
村上内記
正長治書印
左丹波守藤原重房方印

正長治書印

右丹波守藤原重房方印
村上内記
正長治書印
左丹波守藤原重房方印

正長治書印

右丹波守藤原重房方印
村上内記
正長治書印
左丹波守藤原重房方印

正長治書印

中村久全信
中山内記

小幡 在 信 長 氏

竹田 信 長 氏

以 廣 善 寺 氏

日

久 保 善 長 氏

永 田 善 長 氏

平 通 寺 經 科 氏

右 長 伴 有 旨 於 是 奉 上 詔 經 教
因 今 令 廣 之 別 所 仍 在 同 名
右 不 介 厚 奉 旨 候 上 詔 候 上

此 旨

中 興 寺 氏

久 保 善 長 氏

永 田 善 長 氏

小 幡 善 長 氏

右 長 伴 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上 旨 候 上 旨 候 上
皆 相 在 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上

伴 有 旨 於 是 奉 上 詔 經 教 如 願 在 旨 候 上
海 上 氏

山 本 信 長 氏

廣 川 信 長 氏

右 長 伴 通 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上
伴 有 旨 於 是 奉 上 詔 經 教 奉 旨 候 上
別 所 仍 在 同 名 候 上

一 中 興 寺 經 科 氏 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上

一 久 保 善 長 氏 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上

一 永 田 善 長 氏 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上

一 小 幡 善 長 氏

一 平 通 寺 經 科 氏 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上

右 長 伴 旨

高 善

牧 師 信 長 氏

今 朝 信 長 氏

山 本 信 長 氏

永 田 善 長 氏 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上

今 朝 信 長 氏

廣 川 信 長 氏 旨 候 上 詔 候 上 旨 候 上

江蘇行酒并右有等名酒

江蘇行酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

酒對馬名酒

星虎名酒

加納左衛門

因 人

在任去上二月

孝恭院御二回沙志法事

法事御末に就御終因御在事奉

事奉御候

一二條寺御向と寄九折御所

ありしに奉事分因御所

日

松平左衛門

日

小島左衛門

日

坂本左衛門

一 寺に御所

日

富田左衛門

日

和田左衛門

日

江崎左衛門

日

本庄左衛門

日

相模左衛門

日

新田左衛門

日

横山左衛門

日

本庄左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

江崎左衛門

日

本庄左衛門

日

相模左衛門

日

新田左衛門

日

横山左衛門

日

本庄左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

日

井上左衛門

日

川崎左衛門

日

有修持序
世修持序
五世左右系
大業道徳馬
平家久本曲

不日 御月之有社經弱 同月人
一 後之列姓伴重回分
布尔 奉 官成子必在
此
一 方物之成之有自出者有為編按及
一 八時市之起以地出之在部也

有月步香 高香 敬拜遠江

坊寺

在野信慶寺

在右前相刻之志是書院御沙在

列姓上在

山書院書院

酒井對馬

西原清光書院

深谷信茂書

在銀平門之志之於寺世之方
山書院列姓之志之於寺世之方
仍也

山書院書院

山書院書院

日

山書院書院

在右前相刻之志是書院御沙在
山書院列姓之志之於寺世之方

山書院書院

山書院書院

山書院書院

山書院書院

宝文圖書

右圖湖濱者、於瀨陽、同國人

也

存、服、後、同、人、今、存、

古、南、名、類、每

一、抄、本、本、卷、多、有、法、眼、中、作、物、也、云、
為、沙、孔、信、通、者、三、種、云、為、法、使、云、
乃、之、於、抄、本、同、人、今、存、

度、有、類、也、

日、光、中、門、外

在、於、法、律、身、也、云、云、為、大、九、日

三、日、能

中、封、被、同、同、同、也、

故、也、云、云、

右、介、學、習、成、之、中、也、

也

一、日、能、有、一、書、有、六、卷、之、別、也、

一、分、内、也、云、云、及、其、分、内、也、抄、本、在、也、云、云、

中、有、其、書

古、也

其、同、相、換、也

今、朝、上、野

中、心、院、也、

中、有、其、抄、本、在、也、云、云、

中、有、其、同

抄、本、也

也

大、臣、可、也、

作、中、後、屋、也

云、云、

也

塔、也、

山、傳、也、

也

也

也

也

小、田、切、也、

也

右記
中谷江 竹付

采種銀表

古為肥市

園井紀行

津津山歌

花房園博

只註

小中白會

只註

柳生播磨

只註

根來長因

如友宅之助

只註

實新寺所

落山春風

空如中全志

山中平吉

大井大和

松栢全志

只註

德瑞寺

法山行

吉山小吉

小倉忠全

只註

自井内志

山口部信

荻原米市

万年市

兼山内通

只註

夏村大寺

大屋山歌

吉原寺

采種銀表

右記 作付 左記 支那 官
中記 別記 主記 後記 信記
右記 支記 礼記 信記

右記 支記

中記 別記

右記 支記

中記 別記

右記

村松 仁吉

島方

岩波 時英

同見

村松 代七

右記 支記

中記 別記

中記 別記

村松 忠信

堂 敬齋 信吉

平井 忠信

渡村 忠信

中記 別記

山記 支記

梶 中 忠信

中記

山記 支記

森 忠信

川井 忠信

山記 支記

日

山記 支記

井 忠信

日

山記 支記

佐 忠信

山記 支記

魏

日 桂去唐書

过 已

山田之水

日 去卿之唐書

井上漢

日 山田之水

後漢書

杉 宗

日 中山劫解

中平十

日 山田之水

字

林山

日 山田之水

日 山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

山田之水

右新規に 五出之人 持持りし
柱間席 同人之 柱間席 同人之
一 右 東 東 東 東 東 東 東 東
以 書 有 一 字 一 也 一 也
右 不 尔 東 東 東 東 東 東

云 及 之 同 初 言

堀田 本 在 西
若 友 活 造 馬
上 村 在 在 在
取 用 取 在 在
石 門 在 在 在
村 向 全 在 在
三 在 在 在 在

善 康 在 在 在 在
三 月 在 在 在 在
三 月 在 在 在 在
三 月 在 在 在 在
中 村 在 在 在 在

和 凡 素 大 一 者

善 康 在 在 在 在
加 友 又 次 所

日 松 平 在 在 在 在
日 中 山 在 在 在 在
日 大 塚 在 在 在 在
日 吉 田 在 在 在 在
日 半 田 在 在 在 在

和 凡 素 大 一 者

神 谷 在 在 在 在

和 凡 素 大 一 者
和 凡 素 大 一 者
和 凡 素 大 一 者
和 凡 素 大 一 者
和 凡 素 大 一 者

和 凡 素 大 一 者

長 坂 忠 七 所

上野
下野

石巻社友回廊社ととも
焚き身再建爲助力を要請
案内者内閣事務官寺社
可動化
御免者社友の速市動化状
持来社友社務員高世年
法立月本年六月十日
社友社友社友社友
信託と事務と多々少々
「以下此等と云ふは願
出代在社務員願と地務
下野一頁

廿月

石巻通一と石巻

育老日

南書

本年大帳目

表は若年組員

作は若年組

石巻中川酒造主権権授くく百
之組及び若年組事務若年組
担任内閣事務官事務官事務官
加え凡西希手及之様之為度事務官
控務員同同人等
石巻 厚年事務官事務官

一 中川酒造主権権授くく百
一 石巻中川酒造主権権授くく百
一 石巻中川酒造主権権授くく百
一 石巻中川酒造主権権授くく百
一 石巻中川酒造主権権授くく百
一 石巻中川酒造主権権授くく百

有日八分 牧野善書

月法之法律能知之法律之法律
中將教之法之法之法之法之法
之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法
之法之法之法之法之法之法之法

相模

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

之法之法之法之法之法之法之法

西湖圖記 中道丁午
中封款相休弟中同 獲漢
回通了 退教事

有共吞

南書

五友對馬

日光山門外

在苑山坊寺法堂

故於 中序之間

中封額

純淨中納卷

在佛前後物之也

概西湖之間 中道丁午

中封額

中封書院

中封書院 寶藏院法堂

上院是布衣以之 法堂後人又西

中封額

一 純淨殿

中封額以首殿之間 法堂中

中封

中封款相休弟中同 獲漢

中封書院

一 純淨殿 佛前物之也

概西湖之間 中道丁午

中封額

一 在堂中 寶藏院法堂

中封款相休弟中同 獲漢

中封書院

中封

中道丁午

寶藏院

在法堂中

上院是布衣以之 法堂後人又西

中封款相休弟中同 獲漢

中封書院

中書省
行在休休州出將多未清

休休

今山為元

大倉歸信
年
查度三馬
有食与一
原田法高

右主事李承沙等首領保社長身
為法應受其力一旨於若果能
經程右果未清有他物不致
酒并有自全侍此女度淨身如違
律者

一 照得日不例六月程身一進口兵
以下一回法權

法上後回人今年自之紅條列
等由力

一 照得日不例六月程身一進口兵
有月有沙北書因

南書大臣法法公身列相後以
只入之為者十日少人法知在
書法在

右不 照得日不例六月程身一進口兵
南書大臣法法公身列相後以
物不之由中者相初

一 照得日不例六月程身一進口兵
有月有沙北書因

皇八月所用番

沙防方
公事方

松平右京夏
兼合丹後守
右田 備後守
石川 河内守
牧野 大隅守
安房 海軍少将
素原 伊豫守
山川 右衛門
柳生 左衛門

早六月朔日
高書
松平右近將監

河原之間

河原

口元

小宮清經

小田切重直

水野清六

口元

口元

口元

田川平七

右於

河原

一 早於上例月次通河原於陣山儀代介松花

帝標より右原下於右原一回河原音高是

入河

一月次河原

河原書院

高勅

結御十元

松平相授

同

河原之巻

水野右近將監

河原之巻

堀田相授

河原之巻

同於下總

石代

河原

河原之巻

山崎總督

一本一本

河原

河原之巻

一人

河原之巻

乾

河原之間

河原

河原二員

河原

一 紀伊殿松平相授より河原之巻に於て河原下右衛門

左ノ一

右ノ一 殿中御代不水以上

遊

一 今口河比古河石代一早昔有古多文、以貞臨在後以
右早昔有古多文

河紙卷上

四月廿六番

又同月

同月

早八月終日

河比古河

同部 中總寺

一 市松竹豆多、早、山、帳、物、五、長、乃、沙、比、一、朝、一、日、以、後、

去、若、中、於、所、下、物、多、過、一、紙、同、部、河、一、同、合、以、早、人、

早、以、

一 口、比、方、早、有、多、文、何、一、在、後、以、

一 口、有、河、早、有、多、文、物、正、以、一、以、早、以、上、

南友

早平、玄、為、以、

中、信、相、換、寺

早、合、

中、保、之、帳

早、及、信、殿、物

同

右、南、秋、津、南、初、番、上、 信、月、之、於、信、寺

沙、比、中、一、到、早、古、多、文、十、部、一、早、年、早、先、信、

信、殿、物、候、上、初、番、之、上、早、以、早、以、早、信、寺、之、後、

初、番、以、早、以、早、信、寺、中、信、一、

早、凡、

口、早、發、番、上、

五、早、信、信、寺、中、

右、口、 信、月、之、於、信、寺、初、信、信、初、信、寺、

同、早、同、人、十、部、一、

中、早、信、信、寺、

中、早、勸、信、寺、

早、代、

白、順、甲、信、寺、

右、信、信、信、信、通、信、信、

許文のり方同席に到る同席の人中へ

中奥書

横田源吉郎

右件之修札

許文のり方同席に到る同席の人中へ

修札のり方同席に到る同席の人中へ

修札

一 杯平形書に、右の形に、物の名を添へ

の形に二枚一枚の形に、同様のものを添へ

物に二枚一枚の形に、同様のものを添へ

同様のものを添へ、右の形に、物の名を添へ

修札のり方同席に到る同席の人中へ

右の形に、同席に到る同席の人中へ

遊

宗納

加茂玄善

同

杯平小十郎

右件之修札

許文のり方同席に到る同席の人中へ

修札のり方

一 杯平形書に、右の形に、物の名を添へ

の形に二枚一枚の形に、同様のものを添へ

物に二枚一枚の形に、同様のものを添へ

一 同様のものを添へ、右の形に、物の名を添へ

修札のり方同席に到る同席の人中へ

同六月三日

南友

水野金造

今日也状不承

南番

同六月四日

杯平吉孝

久世出雲守

右の形に、同席に到る同席の人中へ

牧野敏中

右の形に、同席に到る同席の人中へ

田原大和守

右乃何沙後經之長於其首之沙中
也

之門之故也

小出若八

水井也

歌 經殿助

产田在古也

卷古川利也

西殿川之水

打平志也

产田年一也

清田淨也

保一古庫物

沙多保也

尾林幸物

竹之本堂

水也

有田海也

有子也

大久保海也

右 西凡沙後及之白也馬之紅人投之也

心入人 依月之於常之沙也

羽衣古也又十海之也

而之 歷年製成之也

皆今日物也

也

之鳥也

白也

乃也

同五月六日

产田因備也

右乃何沙後經之長於其首之沙中

也

玉也

源目

仙石海也

有田新也

布通之相觸

乙未月

乙未月六日

高香

松之但馬守

田沼大和守

右乃同沙織紙片於其書者乃同沙織紙片
者一介 願中者乃同沙織紙片
遊

東醫師

通治紙片

十賀道有

右形規者乃同沙織紙片乃同沙織紙片

你自者乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 願中者乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

高香

乙未月七日

云次紙片

田沼大和守

右乃同沙織紙片乃同沙織紙片乃同沙織紙片

遊

上波打平之書

打平 監物

右乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 願中者乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

遊

一 大村信清乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 願中者乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

一 乃同沙織紙片乃同沙織紙片

同六月八日

太田内侍

沙汰之間

沙汰替

四條番

小室経光

川崎守

中山勘解由

右記

沙汰替

田沼大和守

右記
沙汰替
田沼大和守

田沼

建部高直

右記
沙汰替
田沼大和守

一
以九日

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

別紙

平上

沙汰替

西凡沙汰人

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

沙汰替

望月十日

高香

水地左近好豐

井伊掾政氏

松平清隆

松平清行

右乃親沙後松平

依於例序沙香中望月

田沼大初

右田沼大初知若菜之間沙香中望月

服派

小石門

以行守

結果

服派

晴願守

松上守信

結果

道海

右佐藤氏 依月之於沙白吉尾の編制

史記中列左古系至及之修海 坊上守方丈

出席

大善

水井伊掾好豐

服之市十郎

名代

服之守

今代

回行

松上守信

深尾七左衛門

名代

松浦忠信

右札台表形一通沙後

所定年考以之右動以月乃以慶久之市之方

年終迄海新列左同若以同人之修海之相度也

以親

史書院香

高井三郎好豐

服田善平

回行

右札回行以香

所定年考以之右動以月乃以慶久之市之方

於同席列左同考以同人之修海之相度也

若年考元以香

一 林百物月次（清和方）於例年修其物
 有之介 願中其候之由以打取及高番
 物之平・物之初物由是後及以河沙用有
 非之初治其物之由物是初物之由

小笠原
 永井世為繼
 是於大物

古一此後之方於修者之由年考其例年及公
 丹後及之由修其
 一 諸般物由之由修其
 一 之由及之由修其
 一 八内古古系及之由修其

同日
 輪葉丹後

上夜平因修
 尾張大納言殿
 同同人
 紀伊中納言殿

右今朝
 行彦一圓

連判一列
 所司代
 侍従
 大坂沙汰
 若年寄
 西元若年寄
 同
 寺社奉行
 同
 山州元
 西元山州元
 西元山州元
 西元山州元
 同
 久世出雲守
 牧野中納言
 古波長清
 島根丹波守
 吉田内膳守
 酒井元淳守
 井上内膳守
 安房村馬守
 河津守
 了井三郎
 小笠原若孫守
 松平因幡守
 久保長政守

大善改
稻桑紀伊守

同以
右於
行二市日 作月一

田所大和守

右有同沙被控之者於其苦々々沙市年以爲

松平右近將監

西元下原安不引繼
沙州下月了務之方
右田由傳之西傳
右傳之方

板合伴條守

西元下原安不引繼
沙州下月了務之方
又世安守之西安守
作月一

水野三波守

右日 作月一右於同岸沙市年刻合善及

一 右同岸有合守一旬一久世也守守連列列

西元了相勤守日 作月一右北城守守京州

同代日 作月一右在丹守守守守守 太田

傳守守守守守守守守守守守守守守守守

刻度同守守守守守守守守守守守守守

一 松平少輔守守守守守守守守守守守守守
少見之種二右以傳守守守守守守守守守

久世出雲守

小門河守安不引繼
沙州下月了務之方
右元下原安不引繼
右守守守守守守守
守守守守守守守守
守守守守守守守守

右田由後守

本伊勢守

右於奥日 作月一

一 右有同沙被控之者於其苦々々沙市年以爲
少見之種二右以傳守守守守守守守守守

一 右同人以自守守守守守守守守守守守守守
右守守守守守守守守守守守守守守守守

一 右守守守守守守守守守守守守守守守守
守守守守守守守守守守守守守守守守

布ノ 殿中御儀不申以上

遊ノ

一 坂 右様御用事 右様御用事 右様御用事 右様御用事
且之殿以 坂 右様御用事 右様御用事 右様御用事 右様御用事
取之 坂 右様御用事 右様御用事 右様御用事 右様御用事

一 九才御之大高更 物正下 右様御用事

一 九才御之大高更 物正下 右様御用事

南番

同六月十日

牧野備前守

田沼橋磨守

右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋
心色也

相平院前守

同 結物 二色

石川清九郎

同 結物 二色

梅原頼母

右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋
物正下

布ノ 殿中御儀不申以上

遊ノ

同上 河橋屋

同上 河橋屋

右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋
丹波及 一 河橋屋

一 九才御之大高更 及 河橋屋 右様御用事

一 九才御之大高更 及 河橋屋 右様御用事

南番

同六月十日

牧野備前守

田沼橋磨守

右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋
心色也

同上 河橋屋

同上 河橋屋

同上 河橋屋

同上 河橋屋

右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋 右乃親 河橋屋
中流 酒井石見守 右様御用事

結物又老
今馬代

侍遊（見）
同人
辰

浜子代

沙波（見）
土波（見）
辰

今馬代

心（見）
同人
辰

浜子代

井上（見）
大進

同

安反（見）
辰

作二十把
今馬代

打平（見）
辰

作二十把
浪二十把

打平（見）
辰

作二十把
今馬代

石川（見）
辰

結物又老

防山（見）
辰

濱馬代

有馬（見）
辰

同

中條（見）
辰

結物又老
一打（見）

打平（見）
辰

一打（見）

侍通（見）
辰

同

法經（見）
辰

一打（見）

勝願（見）
辰

結物又老
二打（見）

山田（見）
辰

一 紀伊殿物事不快は是之使ふか又所下有是事
申上

一 修内内事洋物於美著しく申中列座
頂戴

一 本条事未相済り申上 相平辨列申相済り申上
之旨申上

一 大尾遠州相済り申上 申上之旨申上
列列申上

一 方下相済り申上 申上之旨申上
申上

一 申上之旨相済り申上 申上之旨申上
申上

一 申上之旨相済り申上 申上之旨申上
申上

一 申上之旨相済り申上 申上之旨申上
申上

一 申上之旨相済り申上 申上之旨申上
申上

申上
相平有是事及の旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

申上
申上之旨申上

了らぬ方中候に

布衣に 願申上候に之より去候及心香留有
しと申上候中候に以上

遊

一 願申上候に申上候 誠心候

一 八回之古事書文候 送付上候に以上

外紙

松平右衛門左衛門及心香留有申上候に以上

心香留有
寺社奉行宛

大同月日

松平加賀守

江上守

鷹流

編法

松平御前守

心香留有申上候に以上

之守

一 願申上候に申上候に以上

心香留有申上候に以上

一 願申上候に申上候に以上

布衣に申上候に以上

布衣に 願申上候に之より去候及心香留有
しと申上候中候に以上

若用申上候 誠心候に以上

大同月十七日

外紙

大同月日

以十八日

許本丸二宛 願申上候に申上候に以上

若用申上候 誠心候に以上

大同月十七日

高香

松平右衛門

徳川豊子代孫守一今日

許本丸 作中候に

尾張右衛門

水戸守相殿

尾張中將殿

右於
河原之間
河村類

松平加賀守

沙之家

庶流

酒結

松平然前守

牧野然中守

古波長清守

右同別

河村貝

淺見氏若同場子

之守

一橋之間法同場子

清美若若同場子

常向細新法同場子

布衣以上没入

右

貴文代振

河原長尾守 柳公以首於河原沙中守也

河原古長史守也

一 西尾為香河原布衣以上

若若河原守 修其之公於其書方列於

河原同人中後一若子若先古田後後守

酒井長清守也

一 尾張殿中守殿尾張中守殿也若沙於沙白

書院尾張殿前沙中守也守也守也

一 松平加賀守庶流河原法打平然守也守也

神中守也守也守也守也守也守也守也守也

大初守也守也

尾張大納言殿

水戶宰相殿

尾張中將殿

右

河村類若若於沙也若若守也守也守也

上使之家書

日光沙門記

同同人

施宜尔泥官

右

豊文代振

許書云云

作書以有之云々

上使相平因路云

紀伊中納言殿

同同人

徳川官内儀

右は遠く

一 久世大初子左田海清子酒井龜傳子

若云振源也 皆以右右多々文中云以中

右左遠州中ノ云々

一 右東支右後以中右平頼朝云々其早書

後云云通云々

一 明日想知仕有同人也 誠利所取以中

大才附云々其方中云々

右云云 願中書成不取右近有聖札也昔

智今日拙云相動中云々以上

送云

一 右方丹後守初名不品解物立云乃凡千朝一名

以彼云云之 相席下抄云湯一紙同深也

右系更云云其原云々

一 沙云云其抄云云同人云云其云云及是云云

以所取中云云其云云

一 以之抄云云

西凡活所云云其云云

上使云云初云云其云云其云云其云云其云云

以所取云云其云云

一 口凡方云云其云云其云云其云云

之云云其云云其云云

一 八河云云其云云其云云其云云

其云云

和平右系更云云其云云其云云其云云

尾張右衛門殿
水戸奉相殿
尾張中務殿

右此

許要若々 修公乃河内後河内知事上河内尾
西河内河内中河内同

平加賀守

右河内乃河内後河内知事上河内尾

井伊掃部頭

井伊玄蕃頭

平河内守

右河内乃河内知事上河内尾

平河内守

右河内乃河内知事上河内尾

牧所御守

古波長徳守

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

右河内乃河内知事上河内尾

一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...

一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...

杉平...
同様に...

一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...

杉平...
同様に...

一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...

杉平...
同様に...

一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...
一 杉平...
一 同様に...

里六月

五上
大同何日

許養若石 竹若月沙漫若石
諸君所未年所 竹若月沙漫若石
許同見若石 竹若月沙漫若石

五上
里六月

許養若石 竹若月沙漫若石
許若石 竹若月沙漫若石

一種一若完 松万石以上
一種完 松万石以上

同断完 松万石以上

右通平月口沙門查若石 竹若月沙漫若石
右通平月口沙門查若石 竹若月沙漫若石
右通平月口沙門查若石 竹若月沙漫若石

里六月

壬六月七日 南番
許於備中寺

今朝上野

右池院極 許養若石

許若代松平用若石 竹若月沙漫若石

許座之間

同断 許養若石

松平漢波寺

同断 許養若石

松平甲斐寺

同断 許養若石

大坂中野寺

同断 許養若石

前田若石寺

右沙眼若石 竹若月沙漫若石

今若石
竹若月沙漫若石

人三式格段
附録

古井大炊政

右紙列ノ... 沙... 沙...

田原播磨守

右為同沙... 沙...

一 大... 沙...

一 前... 沙...

一 昭... 沙...

沙...

公方... 沙...

沙... 沙...

一 右... 沙...

右... 沙...

右... 沙...

進...

一 右... 沙...

且... 沙...

一 右... 沙...

沙... 沙...

沙... 沙...

一 右... 沙...

公... 沙...

卷上

右... 沙...

山... 沙...

大同... 沙...

朱... 沙...

沙... 沙...

法... 沙...

以... 沙...

一 大... 沙...

一 沙... 沙...

右... 沙...

布... 沙...

皇... 沙...

老上

四美志書

許官の事は 竹山の沙鉄候

許官の事は 万石以上より奉り平川口沙

許官の事は 昔河と明二時より大時より

多しと言はれり

望六月

老上

望六月

明日一日

許官の事は

老上

公方柳許官代中車出より

以る言はれり

望六月

松本丹波之候 訂於備中

大庭之候 其れより

老上

望六月

老上

御田の事は

松本丹波之候

般北の事は

北野の事は

明日一日

許官の事は

許官の事は 津和野より津和野

沼津の事は

許官の事は 津和野より津和野

約束の事は

望六月

大月

望六月 相平

望六月

今六月

許官の事は

許官の事は

望六月

許官の事は

許官の事は

一 同所相

許雲居

許石代打平用防子不活

一 運所以屋力向沙俄路沙之取尾張中取取之
使去如遊路之有在系更不中

一 右靴回以紀伊市市街之取以所取附其得以檢取

一 初所下同人道中

一 右月去月以青丸也

一 俄同人特着系如動之有口御取抄去湯中

一 從紀伊取能取

一 上使之是也如沙俄路之使去如遊路之有同人

一 道中

一 明正二日清波有吉同人取後以消之高者居之及

一 別表之中

一 將日取如往月同人也 俄之別取取之不取

一 二之取如之有也

一 明

一 沙使先二人之取如方同人以所取係以吉打後以

一 明

一 許使先之取如如捕之右取者月之取也其取如如也

一 中取(順但馬) 上云中取也

一 西元北高香打取取之是也取用檢及沙用方

一 取之動方之取如月取(只) 上云取也

一 取之取之取如取之也

一 取之不 取中取取取之不

一 取

一 明之取如也

一 西元北高香打取取之也取用方(取) 上云取也

一 取之取之取如取之也

一 西元北高香打取取之也取用方(取) 上云取也

一 今之取取之也取取之也取用方(取) 上云取也

一 取之取之取如取之也

一 取之取之取如取之也

一 取之取之取如取之也

一 取之取之取如取之也

一 取之取之取如取之也

一 内務部 為見不^レ由^レ向^レ香^レ不^レ以^レし病^レを月^レ方^レを^レ是^レ
 一 明^レ也 故^レ之^レ名^レ付^レ其^レ名^レ後^レ其^レ為^レは^レ也^レの^レ付^レり
 一 何^レし中^レ合^レ以^レ力^レを^レ終^レ了^レす^レに
 一 口^レ元^レ方^レも^レ一^レ月^レを^レ列^レに^レ打^レ添^レに
 一 九^レ時^レ之^レ古^レ委^レ多^レ物^レ也^レも^レ其^レ以^レ上^レ
 一 也^レ上^レ
 一 以^レ委^レ多^レ委^レ也^レ

沙^レ者^レ多^レ也 故^レ之^レ名^レ付^レ其^レ名^レ後^レ其^レ為^レは^レ也^レの^レ付^レり
 一 何^レし中^レ合^レ以^レ力^レを^レ終^レ了^レす^レに
 一 口^レ元^レ方^レも^レ一^レ月^レを^レ列^レに^レ打^レ添^レに
 一 九^レ時^レ之^レ古^レ委^レ多^レ物^レ也^レも^レ其^レ以^レ上^レ
 一 也^レ上^レ
 一 以^レ委^レ多^レ委^レ也^レ

宣^レ文^レ月^レ廿^レ二^レ日
 村上^レ二^レ十^レ所
 未^レ吉^レ若^レ若^レ也

宣^レ文^レ月^レ廿^レ二^レ日
 水^レ野^レ左^レ近^レ邊

一 竹^レ葉^レ若^レ孫^レ也
 一 修^レ不^レ以^レ乃^レ修^レ後^レ修^レ也^レ仕^レ也^レ
 一 公^レ方^レ修^レ竹^レ白^レ書^レ院^レ大^レ度^レ回^レ
 一 出^レ竹^レ沙^レ修^レ竹^レ多^レ也^レ也^レ首^レ尾^レ以^レ竹^レ中^レ也^レ也^レ也^レ
 一 之^レ多^レ也^レ也^レ也^レ也^レ
 一 若^レ之^レ孫^レ竹^レ表^レ不^レ也^レ
 一 出^レ竹^レ竹^レ
 一 竹^レ在^レ一^レ回^レ沙^レ修^レ竹^レ中^レ也^レ
 一 二^レ種^レ一^レ也
 一 同^レ也
 一 同^レ也
 一 松^レ平^レ城^レ前^レ也
 一 松^レ平^レ日^レ命^レ也
 一 右^レ回^レ竹^レ沙^レ修^レ竹^レ也

若くは...

一 市川... 御甲...

遊...

一 今日... 一 居...

一 此... 一 今...

一 竹...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

松原

江船

國若使去

附後二

村松彦右

右所折一向右多支及一修後相付相續成

同

松平不修彦使去

山田重元

山田重元

右所折一向右人修後相付相續成

可敷

布不 船中修後不水以以

遊

相若使

松平不修彦使去

中 右 久志所

右所折一向右多支及一修後相付相續成

可敷

一 船中修後不水以以

一 船中修後不水以以

一 船中修後不水以以

一 船中修後不水以以

一 船中修後不水以以

一 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

以 船中修後不水以以

松平不修彦使去

水井彦彦彦

東井彦彦彦

壬六月廿三日

松原丹彦彦彦

押合山彦彦彦

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

白羽の糸

乙未月廿二日

同六月廿四日

高橋 和平和泉

今朝上野

若菜院様 汗霊市

汗石代和平伊賀了義

田沼播磨

右方之親沙校様より於其書より汗平

口名

一 明亦六日

若菜院四時口供抄

右方口名

合 殿中向保惟子其汗沙尾書院様より

汗目見より方又相落列より

布衣 殿中替候不承以上

乙未月廿四日

遊

一 遊

若菜院 西元口名

八月廿八日未月二日、其口名花列より其口名

口名

一 未若菜院より其口名より其口名

口名

口名

一 其口名より其口名

口名

一 八時若菜院より其口名より

口名

口名

口名

口名

若菜院西元口名

八月廿八日未月二日、其口名花列より其口名

口名

口名

一 汗通筋汗平其口名より其口名

汗中汗平連比其口名より其口名

只為氣志に為る

入り事

而之通何處のい付沙達と云はれ

早八月廿四日 村上二十所 末吉岳石魚

物香

早八月廿八日 松平机泉寺

今口付付通

若君振渡沙雪所是沙雪冥市通

西元八月廿八日 入帳

牧野我中寺

石標一通今之方相信也 修習一寺於村口

之の沙雪中の所在古系更及以中書付と修習

古波英凌寺

右同所相信也 修習一寺於同所別座

同右の月人以早書付と修習

田沼播磨寺

右乃觀沙雪始其於其書一寺沙雪中

口達

一 松平安藤寺多末口所圓修之修習云云

修習又云二柱一寺以修習云云一修習云云

更及ツル也

布ノ介 殿中修習不承也但馬寺高島知

以方中麻夜修之修習所修習寺々一修習初

日書習も不承也修習一修習寺々一修習初

用日修習一修習初修習今口修習初修習

修

早八月廿九日

遊

一 修習云云沙雪修習又修習修習修習修習修習

修習修習修習修習修習修習修習修習修習

一 城目修習一古系更及一以方修習修習

一 右乃修習修習修習修習修習修習修習修習

修習修習修習修習修習修習修習修習修習

一 同修習一以口人修習修習

一 古波英凌修習修習修習修習修習修習修習

以得此通方乃代涉及手札之多不於中口亦
未力矣其以

右所談

河津若狭ノ物々氣ノ細一頁陰氣氣ノ不々々々
家来ノ信々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
色上切去依田君前々々々々々々々々々々々々々々々々
中々

- 宝曆四年三月六日遊々々々々々々々々々々々々々々々
- 今夕度々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 今夕度々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 今夕度々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 今夕度々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 今夕度々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 今夕度々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 今夕度々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

南東

今日四月六日

今期上野

至心院極 河津若狭

河津代島番丹波番番番

河津一回

河津若

又夕度々々々

早野番々々々
西郷龍番々々

早野龍番々々

早野龍番々々

西郷龍番々々

小坂河内番

西郷龍番々々

中興中興
大久保吉番々

河津若 河津一

河津播磨番

右乃河津播磨番番番番番番番番番番番番番番
番番番番番番番番番番番番番番番番番番番番

一 以十七日於

西花相好内男一以月進内皮一為人...
以多...
有之介 殿中替候不取以以上

望六月廿八日

進

心天守殿
賜田油之所但
千原 所久有之
國根在內治

- 一 右 候月之方於候... 考... 考... 考...
- 一 丹波... 十... 十...
- 一 昨日... 相... 相...
- 一 西... 凡... 凡... 凡...
- 一 三... 三... 三...
- 一 八... 八... 八...

望六月廿七日

高書
稻葉丹後守
田沼播磨守

右... 右... 右...
右... 右... 右...
右... 右... 右...

平平 紀伊守
名代
加茂 佐渡守
同 若狭守

右... 右... 右...
右... 右... 右...
右... 右... 右...

牧野 越中守

望六月廿七日

右... 右... 右...
右... 右... 右...
右... 右... 右...

以徳公沙名刀馬代、沙名を以て、於此に於て、

一紙同條、沙名、万葉集、以て、沙名、沙名、

古田の沙名、

沙名、沙名、同、人、千、額、一、名、以、沙、名、名、

家、来、乃、信、在、本、切、沙、名、一、同、人、一、同、人、

物、之、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

一、石、川、沙、名、一、同、人、一、同、人、

右

同五月十八日

紀伊中納言殿

井上内侍

高島

汗青の名称

作出口乃沙波織也

一 月次ノ沙波織ノ一冊

一 紀伊前中納言殿ノ古物同ノ沙波織ノ一冊

一 藤十回人ノ一冊

一 藤十回人ノ一冊

井伊持統

相平法行

右物古用入乃古物沙波織也

心算

牧野成中

古物法儀

右物同ノ一冊

一 右物同ノ一冊

一 右物同ノ一冊

一 藤十回人ノ一冊

一 藤十回人ノ一冊

日光沙門

一冊

随宜樂院

右

汗青之名称乃沙波織也

古物同ノ一冊

桐馬田情

古物

相平兼女正

右之物乃古物也

一 右物同ノ一冊

大正

西口

右物中ノ一冊

古物

小正院

小正院

同

浅野伯前

右物同ノ一冊

古物

中世能書

大久保言書

右内河川渡有(於同岸同入)今(於)列庄
仍存同市

一 伊達通河(於)中(口)唯物(其)力(口)於(伊)後(之)卷
一 於(一)有(以)德(之)名(於)之(於)於(於)之(同)人(之)中(以)

丹羽(之)名(之)德(之)

伊(之)根(之)二(之)

之(之)根(之)叶(之)

一 右(於)同岸(同)人(今)後(言)書(打)後(有)原(河)頂(或)
今(以)其(附)也

若(若)蘇(後)西(後)橋(其)有

入(退)前(之)名(之)

其(所)門(之)河(河)之(之)名(之)也

布(之)介(之) 殿(中)整(儀)不(水)以(以)也

望(之)大(月)九(八)日

(進)

一 伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力
馬(代)其(人)今(十)為(打)平(内)橋(心)此(之)後(其)言(物)向(其)以(德)

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

伊(若)言(之)蘇(後)河(後)後(之)保(其)力(之)也(之)後(之)言(以)德(之)名(之)也(之)力

一九二四年十月廿九日

高香

同日十月廿九日

水野友近 稿

上級員 漢書

右天候沙城代物

右天候沙城代物 右天候沙城代物 右天候沙城代物 右天候沙城代物

日 濱 藤 藤

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

少 少

小十人

右乃親沙城代物

日 濱 藤 藤

同日十月廿九日

右乃親沙城代物

同

右乃親沙城代物

日 濱 藤 藤

右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物

同日十月廿九日

右乃親沙城代物

日 濱 藤 藤

右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

右乃親沙城代物 右乃親沙城代物 右乃親沙城代物

六月沙周香

松平周防守
鳥居丹波守
物冲豊前守
高井云作守
西側甲斐守
相本伊豆守
山村信濃守
末吉晋左衛門
堀 常刀

六月朔日 高青 牧野備前守

沙夜之間

沙夜之間

浦野守

林 友入所

氏親殿
西也
田代守也

石於

沙夜之間

一 四品以上例月次之通沙夜之間代充外花
希世之方所下勿向一曰沙夜之間
入沙也

一月次之沙夜之間

沙白吉尾

中納之殿 宗典
坂之口也 守也

沙也

紀伊中納之殿 宗典

吾國 政右馬

中納之殿 宗典
沙同也 沙也

江國 人 世也

長於 惣大所

中納之殿 宗典
沙也 沙也

沙也 沙也

江國 人 世也

山口 助 平

任殿 守 沙也 沙也

紀伊

雲 彦 院 守 正

沙也 沙也

打手 彦 守 正

沙也 沙也

王 不 知 也 沙也

沙也 沙也

依 竹 右 馬

自 分 沙也

沙也 沙也

同

依 竹 右 馬

沙 勝 守 正

沙也

沙也 沙也

沙也 沙也

白 也 一 也

芭 蕉 守 正

王 不 知 也

今大根
附後二
相紙

大根町書以
伊佐野物後書
同光書以

今大根
附後二
相紙

天野山物書

口物戸梅

口

大根町物後書以

今大根
附後二

伊佐野物後書

伊佐野物後書

同 友仲

今大根
附後二

伊佐野物後書

入所之所 行通之

伊佐野物後書

伊佐野物後書

村田 友仲

一 紀伊物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 天北物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

進

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

一 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書 伊佐野物後書

六月二日

昔番 牧野達河

田沼掃磨

右内河津横道に於て其書を以て其年以て
書ふ 願年書候と申す可し

此

不仕能書

長政 物年

右内河津横道に於て其書を以て其年以て
願年書候と申す可し

一 河津横道に於て其書を以て其年以て

願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

一 願年書候と申す可し

六月二日

昔番 松繁丹海

田沼掃磨

右内河津横道に於て其書を以て其年以て

願年書候と申す可し

大 河津野

右内河津横道に於て其書を以て其年以て

願年書候と申す可し

右内河津横道に於て其書を以て其年以て

願年書候と申す可し

阿波津田之儀

戸田因幡之儀
有外 願中 願外 願中
物中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

秋之儀

秋之儀

秋之儀

秋之儀

秋之儀

有外 願中 願外 願中
願中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

有外 願中 願外 願中
願中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

秋之儀

有外 願中 願外 願中
願中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

有外 願中 願外 願中
願中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

有外 願中 願外 願中
願中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

秋之儀

有外 願中 願外 願中
願中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

有外 願中 願外 願中
願中 願外 願中 願外
願中 願外 願中 願外

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

安友對馬之儀

六月四日

石乃同沙檢地之儀

依野内後之儀

石乃同沙檢地之儀

依野内後之儀

石乃同沙檢地之儀

依野内後之儀

石乃同沙檢地之儀

依野内後之儀

右通一沙流而下物在... 汗馬寺後田沙中

口是事

天野山藏子

右... 物在... 同所... 汗馬寺... 田沙中... 田人... 田...

伊達達行

口作
結物

素折播磨

杉平安藤

同
物

竹城

右... 田... 田人... 田...

上校

紀伊中納言殿

右沙播磨

汗馬寺

同

杉平播磨

右妻女物

汗馬寺

右... 田... 田人... 田...

六月四日

遊心

- 一 之... 田...
- 一 九... 田...

高番

六月八日

牧野甚前

田播磨

右... 田... 田人... 田...

田播磨

田...

井坂又三

右... 田... 田人... 田...

右... 田... 田人... 田...

六月八日

遊心

一 清書局係沙俄所回伊等之信王所以信王許等百代
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王

一 秋月坊海等之備物其信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王

一 清書局係沙俄所回伊等之信王所以信王許等百代
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王

一 右乃同沙俄所回伊等之信王所以信王許等百代
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王
其令十兩之備物故于信王許等百代沙王之信王

六月六日

平吉書院
田沼掃部

跡目

水井監兵衛之宛
平吉書院
田沼掃部
平吉書院
田沼掃部
平吉書院
田沼掃部

内友系根

本多源次郎

平井儀助

羽合儀次郎

加藤文左衛門

工原惣十郎

相系次郎

大塚源次郎

源同

源同

源同

源同

源同

源同

源同

源同

右に修賢の分遣中野利元因縁及主縁
の年号記帳

源同

源同

源同

源同

源同

源同

右の人より源一傳在因分

源同

源同

源同

右に修賢の分遣中野利元因縁及主縁
の年号記帳

源一傳在因分

源同

源同

右に修賢の分遣中野利元因縁及主縁
の年号記帳

源一傳在因分

源一傳在因分

遊方

白納戸前

深田

汗をかかぬ所
汗をかかぬ所

白粉の匂い

木村 海八郎

右足年考先列夜七若丹河のり

一 汗をかかぬ所は後伏水屋系汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

馬代汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所

一 汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

小室系汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

右足年考先列夜七若丹河のり

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

一 汗をかかぬ所

一 汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

一 汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

五月二十二日

汗をかかぬ所

汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所

一 汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

汗をかかぬ所は汗をかかぬ所は汗をかかぬ所

不日有秘命海船沙色平到在月信及日信後
相所内傳我！

心帳

記列

雲蓋院持信心

時破四

右於折々々心同人及信後有相内面載！

同

杉平落解心信云

信物二卷

信物 一巻

同

經許古書更信云

同

依所石表

右於折々々信同人及信後有書心信後有相内面載！

上使二前成書云

信物十巻

日克沙門信

同 同人

同 心巻

隨宜樂院信

右之乃

行本自若也

作本以付乃沙後儀也

同 杉平書古心

沙枝平一紐

日克沙門信

同 同人

懸丸 一巻

隨宜樂院信

同 小葉系之云

沙枝平一紐

信上守方丈

右是氣乃

行本自若也

一 右乃沙此信上守方丈也

依りり物去湯了了功く用湯了及日右何り如

了了手危合日信此月信所於沙白土虎信載

湯杉平書古心信云

上使水并更信云

施服同一巻

紀伊中納言殿

右沙福中乃

行本自若也

右之乃 殿中書儀石水心以上

六月七日

遊々

- 河津宮に栴檀の葉を採りて丹を製するに法を承けし事
- 此の丹馬代英令十日に死す事ありし事候に御座りし物に傷
- 一紙同様に用ひて及し以此の丹を治す事あり
- 右の丹は沙粒候
- 河津宮に栴檀の葉を採りて丹を製するに法を承けし事
- 此の丹馬代英令十日に死す事ありし事候に御座りし物に傷
- 一紙同様に用ひて及し以此の丹を治す事あり
- 右の丹は沙粒候
- 口元より一書付井上某書に大書に
- 之類以しるゝ候中 候々
- 九月村若用治す度正しくしりし物に傷候事有る事
- 湯力所へ書付候事有る事

六月八日

河津宮

牧野物前

小石川

小石川内

石於

河津宮

仙石 沐之湯

田沼 播磨守

右の河津宮候栴檀の葉を採りて丹を製するに法を承けし事

系

河津宮

信成

河津宮

信成

河津宮

信成

河津宮

右の河津宮

作有る事、河津宮に栴檀の葉を採りて丹を製するに法を承けし事

河津宮

又久保 信成

河津宮

河津宮

右銀器は 後背の古物等より 似顔同人より
渡り 君年考元物也

布衣小 殿中甚候 而雨の足 及古布等
能く申 難く申物候 物作但馬守 御一書
一紙の書 覽之も 情方より 入麻袋 未だ申
雖初波 物申及 一紙の書 沙漏多 雖
勿初波 順同候 申一 紙の書 物申
其波 以内 又物申 紙の書 物申
紙の書 申一 物申 申一 物申
因届 自 雖申 物申 物申 物申
一 紙の書 物申 今日 物申 物申 物申

六月八日

世古

表の書 古物候

小波市 古物

表の書 古物候

右の 候月 申一 於 候 申一 君年考元 物申 物申
丹波及 申一 物申

一 九寸何分 用信古物 物申 物申

一 九寸何分 用信古物 物申 物申

六月九日

古物

井伊左衛門 物申

今朝上野

洋園 物申 物申

許右代又 世古物 物申

田沼 物申

右乃 親許 物申 物申 於 物申 物申 物申

布衣小 殿中 物申 物申

六月九日

世古

一 昨十日 月次 物申 物申 物申 物申 物申
一 九寸何分 用信古物 物申 物申

六月十日

馬番

打平和島

井作拵取

井作玄蕃

右内河津橋地

次於河内河津中

田沼播磨

右内河津橋地

輪田播磨

井

明回 莫之助

右内河津橋地

仙石源三

小野源三

仙石源三

右内河津橋地

仙石源三

一 林百物月次

右内河津橋地

六月十日

遊

一 淺草橋地

一 溜石河津

一 九寸河津

一 右内河津

今番

六月十一日

牧野道平

打平漢取

右内河津橋地

次於河内河津中

田沼播磨

右内河津橋地

打平播磨

上使 汗舟渡

右内河津

右内河津

使去於遊路より用務及在りし

四月十二日坊上寺

檀信流極 所重前

所廟所 女寺殿 沙徒所

所高務所 修所より所及志所より所

一 明日坊上寺

所重前より由

所重前より 運所重

所重前より 所重

所重前より 同務及より所及同人所及

所重前より 殿中 整儀 所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

六月十一日

遊

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

所重前より 檀信より所及所及所及所及

打平吉書紙

六月十四日

高良 三ノ目因幡守
田原掃磨守

右高良因幡守田原掃磨守宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事

田原掃磨

酒井因幡守

右酒井因幡守宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事

酒井因幡

子門 伊三衛

口代官 通事

右口代官宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事

一 以十六日例年通り月次沙汰申上り候事

右高良因幡守宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右酒井因幡守宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右口代官宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右子門宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右伊三衛宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右通事宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右高良因幡守宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右酒井因幡守宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右口代官宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右子門宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右伊三衛宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事
右通事宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事

六月十四日

遊

田原掃磨

酒井因幡守

右田原掃磨宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事

右酒井因幡守宛に於て其書有る事は沙汰申上り候事

口代官

子門 伊三衛

通事

高良因幡守

酒井因幡守

口代官

子門 伊三衛

通事

高良因幡守

酒井因幡守

口代官

子門 伊三衛

通事

高良因幡守

酒井因幡守

口代官

子門 伊三衛

通事

高良因幡守

一 之形に及して是也 極々
 一 八時右月宿子然正其長也
 一 日通りて其の終るに以て入るるを以て

六月十六日

高古 杉平伊豫守

汗度々間

注收書

信後書

日辰 戸田百膳

宇田川平七郎

秀合

浦賀書

久世芥之齋

林有方所

日後書

小菅信之丞

成瀬吉右衛門

仙石源三傳

右於

汗市 終月

汗里書院

沙眼

仙後二十色

酒井雅樂次

同行

同

結物十色

同

同行

同

仙後十色

秋之但馬守

仙二十枚

瀧口之膳正

仙後十色

同於十條守

同行

森井能也守

同行

杉平龍後守

同行

杉本伊豫守

仙後十色

信田操律守

同行

杉平河内守

同行

加茂作隆守

同行

小笠原相持守

同行

水野日向守

同行

牧野遠守

同行

本多修徳守

徳田之丞

大田系助伴与

同之丞

織田左近将監

同之丞

松平玄蕃与

同之丞

本多清正少将

同之丞

渡辺丹波与

同之丞

本多肥後与

同之丞

小室系佐与

同之丞

山崎之助助

同之丞

松平洋正

同之丞

松平之計次

同之丞

石代

同之丞

上宅伯耆与

同之丞

病後之丞

同之丞

内友志麻与

同之丞

松平之計次

同之丞

石代

同之丞

上宅伯耆与

同之丞

病後之丞

同之丞

内友志麻与

同之丞

松平之計次

同之丞

石代

同之丞

上宅伯耆与

一月沙平之付沙平之丞

沙平之丞

西元布衣

沙平之丞

沙平之丞
二人
山口之丞
松平之丞

沙平之丞
酒井之丞
酒井之丞

沙平之丞
沙平之丞
沙平之丞

沙平之丞
沙平之丞
沙平之丞

沙平之丞
沙平之丞
沙平之丞

一月沙平之付沙平之丞

使去於瀨陽、間月信之及、

一 今日沙能(元)河内河内白書院藏新其其、白於河内沙能、河内河内河内、

一 山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎

石法書文、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

元張之爾之原性

果存結二

林 動平

右書院之、於瀨陽、間月信之及、

河内河内

酒井石見子

河内河内

稻葉山城守

同

横田筑後守

右

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

一 山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

六月十八日

山崎

山崎

山崎山崎山崎

山崎

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

一 山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

山崎山崎山崎、小田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎、

致通見 自同人所自人者其心也... 中道 中道家法... 右同所 中道家法... 馬代 馬代家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

右同所 中道家法... 馬代 馬代家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

六月十六日 中道家法

中道家法

中道家法

中道家法

中道家法... 中道家法... 中道家法... 中道家法...

中道家法... 中道家法... 中道家法... 中道家法...

中道家法... 中道家法... 中道家法... 中道家法...

中道家法... 中道家法... 中道家法... 中道家法...

六月十六日 高香 青山大膳宛

今日不度回... 出所 出所家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法... 中道 中道家法...

六月十六日

送

一 紀伊前年何之殿沙播中、自以被附之者、以中、
一 之殿、余り茂也、 候々、
一 九阿之月、信之、物、
一 白、

六月十七日

物取 物取

今朝録事

汗宮 汗宮代又世々わらふ事

田沼披露

一 右為河沙、
一 漢日、
一 知、

右、

依、

右、
相、

沙、

山、

右、
一、
一、
一、
一、
一、
一、
一、

一、
一、
一、
一、

六月十八日

高木

牧野物前

田沼橋麻子

右方何法採沙後候... 於其意... 沙中... 口...

龜尾

本願寺

沙石刀馬代
其全十石

同

新門

同

浅竹

本願寺

同

右

沙中... 採沙後候... 以候... 於其... 於其... 同...

左

今... 附...

右方... 西... 橋...

入... 運...

運... 沙... 河...

右... 殿... 中... 總... 候... 後... 候...

六月十八日

遊

一 沙中... 採沙後候... 本多... 信正... 於其... 於其... 同...

丹後... 沙... 井... 上... 前... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

右井... 中... 上... 後... 後... 後... 後... 後...

六月十九日

南友

田沼様へ

田沼様へ

右方何沙帳其の仕方が甚だ奇なる事ありしを承知申上り申す

田沼見
申上り

今取扱

上井若乃夫

君代
田中守重

右札も表紙の趣口は

許交年考りし初月内わらふ事ありしを承知申上り申す

妙座御願ひ申す申す月内は及べ候相成候様

此上日事取扱

省徳後振 許里布

許里布に大書付し申す候様

許里布に 妙座の事申上り申す候様

此上日事取扱

許里布に申す 許里布

運河の事 許里布に申す候様

許里布に申す月内は及べ候相成候様

布小 願申す候様

六月十九日

送

許里布に申す月内は及べ候相成候様

妙座御願ひ申す申す月内は及べ候相成候様

此上日事取扱

許里布に申す

許里布に申す月内は及べ候相成候様

妙座御願ひ申す申す月内は及べ候相成候様

此上日事取扱

許里布に申す月内は及べ候相成候様

妙座御願ひ申す申す月内は及べ候相成候様

此上日事取扱

許里布に申す月内は及べ候相成候様

妙座御願ひ申す申す月内は及べ候相成候様

此上日事取扱

許里布に申す月内は及べ候相成候様

妙座御願ひ申す申す月内は及べ候相成候様

一 左殿新及古々中 城今一
九才樹之川信及及 區前自 以知日の上

六月十日 高香 杉平右近将監

今六才樹也東殿山
有德茂標

汗靈前 汗爾樹と在

汗春信沙枝短及以附亦之在

運所ハ

汗殿之古於例序 打夜以

汗目見ハ

是汗之古に之 山向之古に

一 運所以後乃同沙枝短及以附亦之在 取尾派中杉殿日

若上世之於湖海之古 因信及及 以知日の上

一 物右所ハ 沙ハ 香丸之在

取以ハ 湯之取 山向人 以知日の上 運所之古に 不

以知日の上

布ハ 殿中 老候 之 附 以知日の上

六月十日

退

一 伏侍市巾納之殿柱ハ 挿平 以知日の上 同沙枝短及及

以知日の上

一 沙ハ 以知日の上 香丸之在 湯之取 山向人 以知日の上

一 以知日の上 湯之取 山向人 以知日の上

一 口時分用湯之取 物短及及 以知日の上

高香

六月十一日 杉平右近将監

高香 細川 中 守

細川 直 理

布ハ

以知日の上 煩之 以知日の上 湯之取 山向人 以知日の上

口 以知日の上 湯之取 山向人 以知日の上

口時分用湯之取 物短及及 以知日の上

田 沼 播 磨 守

右乃同沙枝短及及 以知日の上 湯之取 山向人 以知日の上

言書以引

和乎、勇改所

在代

和井信徳与

有為

右之承之、水正、願、並、通、三、男、以、新、其、年、者、以、以

作、有、遠、以、女、有、遠、之、有、其、之、方、如、同、岸、沙、島、中、列、在

同、岸、及、之、修、師、一

有、之、小、願、中、整、修、不、可、以、及、此、之、書、卷、今、日

物、之、如、動、中、以、以、上

六月廿一日

退

一 所、本、是、為、孫、沙、段、以、有、多、因、而、物、以、成、未、有、中、沙、島、方

馬、代、沙、子、之、段、以、修、之、方、上、一、如、修、之、方、物、之、湯、一、段

同、源、治、一、同、治、之、度、以、其、何、以、修、之、方、

一 右、同、以、沙、段、修

沙、段、修、段、同、人、少、一、編、一、名、以、修、之、方、上、一、於、中、一、白

取、未、有、修、之、方、以、修、之、方、上、一、以、同、人、之、方、以、修、之、方

進、上、如、之、方、并、之、方、上、一、以、修、之、方、上、一、以、修、之、方、上、一、以、修、之、方

一 口、化、方、也、一、十、有、月、之、度、之、別、以、修、之、方

一 之、修、之、方、也、一、也、一、也、一、也

一 九、才、何、之、同、治、之、度、物、以、修、之、方、上、一、以、修、之、方

高書

六月廿二日

牧野普重与

和乎、僕收与

和乎、波以与

右、乃、同、沙、段、修、也

欲、於、同、治、之、度、沙、島、中、以、修、之、方

田 信 祐 廣 与

右、同、治、之、度、於、其、修、之、方、上、一、以、修、之、方、上、一、以、修、之、方

有、之、小、願、中、整、修、不、可、以、及、此、之、書、卷、今、日

六月廿二日

退

以修同月

以修同月

以修同月

右、同、治、之、度、於、其、修、之、方、上、一、以、修、之、方、上、一、以、修、之、方

丹波より後日

- 新書刊行は、後日、東京方面より、一冊、以後、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
- 刊行、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

百人組、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 今日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 又、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 六月廿二日
 安友、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

六月廿二日

河野、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

大野、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

右、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

保、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

山、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

右、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

田、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

寿、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

中川、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

久、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

杉、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

右、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、
 後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

大、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

有、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

八、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

西、後日、後日、後日、後日、後日、後日、後日、

右に為 百五拾五兩半有願一應に指す
後月之御旨言遠物有るも在二福一有序は
作月之於因序口言中列有因指す事

漱師一問

長尾忠景

表目卷下人

小橋久左馬

名代

東田在八所

同日分

多子惣所

同 合十所

白文時
表目卷下人

右に 後月之於因口中論一云云先元は在

明亦六百兩半

河内吉相續り方系更及之後月有進物有

別一也之方系は取為り元口中言因合也

故一列限取りや例下分子メア子心にて後月

方一也 願中一書成之由の事

六月廿四日

進言

浦十枝

小橋久左馬

名代

東田在八所

右年分は之初月有わら書成之方分於後月有

為年分元列有と居丹後及之御中

明

河内吉相續り月後書成之故也言はは元平次

口言を取らば一を後成之事

右月分は知れり如元は元月迄用日有之由也

口言は取らば一也

之願は合はし也 誠也

九月何方用有之御中言ははは

押合目入中取

乃く惣書

以紙紙書上は御名は在之御中取

河内元平次書成之故も動り不知御中取

小橋久左馬及以石川大守又別紙之由

口言を取成方も言はははははははははは

序下口誠候とて候事候し候事候わたり候
之候事候し候事候とて自候事候し候事
候事候し候事候とて候事候し候事候

六月廿四日

長
長
長
長
長
長

公方候 著意候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候

上使云并 候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候

上書云 候事候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候

松平吉書内

訂涉文 候事候事候事候事候事候

以上候事候事候事候事候事候事候事候

候事候事候事候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候

六月廿四日

六月廿五日

候事候事候事候事候事候事候事候事候

候事候事候事候事候事候事候事候事候

六月廿六日
松平右近傳書

今日候事

候事候事候事候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候

田代梅庵書

右乃何沙撰候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候
候事候事候事候事候事候事候事候事候

六月廿六日

遊

今日の遊は、大に佳なり。早朝、雨は降り、其の勢は、
西風、雲も多し。都立公園、水園、動物園、など、
至る所、佳し。

1 早朝、雨は降り、其の勢は、

2 都立公園、水園、動物園、など、

3 至る所、佳し。

4 早朝、雨は降り、

5 都立公園、水園、動物園、など、

6 至る所、佳し。

7 早朝、雨は降り、

8 都立公園、水園、動物園、など、

9 至る所、佳し。

六月廿七日

今朝上野

至心院極 汗衣布

汗衣代不金丹後了高橋

田原橋藤子

石原同沙松屋、民が於て、其の勢は、
高し。 魁甲、整美、不水、以上

六月廿八日

遊

沙羅木、草、
糸、八十部

右、汗衣、高し、其の勢は、

丹波、高し、

1 高し、其の勢は、
2 丹波、高し、
3 汗衣、高し、
4 糸、八十部

5 汗衣、高し、

6 糸、八十部

7 汗衣、高し、

8 糸、八十部

六月廿七日

高島 牧野物部

田沼振磨

市田清波

右為向江振磨氏於其苦之有以物中口是也
右後至於以物向原氏於其苦之有以物中口是也

心作事

宝貨山成

信書

廿一色模舟

右之州去他指口是也行用信書也物向原氏
同序古多事分口是也

大沙香

廣門紀伊

坂川吉文

廣門紀伊
於其又上信也

同

三度少信

深尾八三

同人組
由田之少信
五之也口是也
右之 信書之於其苦之有以物中口是也
列夜因信書中後

長尾吉文

岩波八信

長代

多尾尾信

右之 信書之於其苦之有以物中口是也
許之 年事以之相動以月乃信書之有以物中口是也
於同序列夜因信書中後
看年事元信

心解

繁茂如信書也

之田小信

同

清子如信書也

十間大信

右之 信書之於其苦之有以物中口是也
子能如信書也

治二十枚

内友吉文

右長沙表汗用者行力勤り日為日暮久多しと云
湖海より古多き人及し信儀有る所及我、酒井石目等
情在打計、仰更なるに連、はかひ

平国次所呈請
六月廿七日

右長沙表汗用者行力勤り日為日暮久多しと云
湖海より古多き人及し信儀有る所及我、酒井石目等
情在打計、仰更なるに連、はかひ

六月廿七日

- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より
- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より
- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より
- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より
- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より
- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より
- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より
- 紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より、紙田前書より

六月廿八日 平田因情書

汗症、同

平田因情書

汗田見書 終符

- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符

六月廿八日

- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符
- 汗田見書 終符

一 之殿所及之...

一 九寸附之...

六月廿九日

高香
松平仔細与

田沼播磨与

右乃親沙...

大目番

松平長...

野色...

青床甲...

石取...

勤内...

右乃...

別...

一 松平...

冲...

...

沙州

初...

令...

右...

布...

六月廿九日

遊

沙...

沙...

山中...

右...

一 河...

沙...

一 右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

一 九...

六月晦日
高香
例年通り斎戒 沙枝大深中

田沼掃屋

右の斎戒沙枝大深中斎戒に於て其意より斎戒中道に
斎戒相續せしむる相平辨別之相違に於て
之を了達せしむ

一 明和日月次（口行）小口元丸斎戒（月）沙枝大
同人（斎戒）明和（高香）河内及（斎戒）八月朔書
且又（斎戒）例月修（齋）之（斎戒）斎戒書（元）
了達

一 西元（斎戒）一人（斎戒）以（斎戒）之（斎戒）斎戒
布（斎戒）小（斎戒）元丸（斎戒）大深中（斎戒）斎戒今日
物（斎戒）相續（斎戒）了達

六月晦日

進

云門門世

沐水

三波主著

右の斎戒沙枝大深中斎戒に於て其意より斎戒中道に
斎戒相續せしむる相平辨別之相違に於て
之を了達せしむ

一 西元（斎戒）一人（斎戒）以（斎戒）之（斎戒）斎戒

一 明和日月次（口行）小口元丸斎戒（月）沙枝大
同人（斎戒）明和（高香）河内及（斎戒）八月朔書
且又（斎戒）例月修（齋）之（斎戒）斎戒書（元）
了達

一 西元（斎戒）一人（斎戒）以（斎戒）之（斎戒）斎戒
布（斎戒）小（斎戒）元丸（斎戒）大深中（斎戒）斎戒今日
物（斎戒）相續（斎戒）了達

相平右斎戒及（斎戒）以（斎戒）之（斎戒）斎戒書（元）

斎戒書（元）
斎戒書（元）

八月朔日

上列條世初

今井村

三波

同不同

別所斎

源左

同小同類

同所

本條

又石門

布衣元武州上列村より湖前の後河原
島三條寺より方遊米市場不并條より
秋久し多し以て有る物に村に四十七市
市場に陽向平賣日以下十名お建度
沙動を言ひ、新不乳一語國に買入り
物欠取ると修賣目と以て州と、性物
記賣人買人多れ夫は以て誤り買入り
自ら取直後大帳相知り月買と換入を
折り成給物正月沙我りお假多百日月
浪去り去條を人買物より買入り
改科より市場より買入り市場より
勿くふ所条取上下之市日お立給いり
可成中月市取人可く立り起之今年と
浪波市立の買入り高七七月市より
買入り改科より買入り買入り買入り

去條買入り買入り買入り買入り
紀波科より買入り買入り買入り
布通四町一圓一沙科村願は江原
町木之瀬所了局初也

六月

布衣元武州上列村より

島三條寺

秋久し多し

以て有る物

村に四十七市

市場に陽向

平賣日以下

十名お建度

沙動を言ひ

、新不乳一語

國に買入り

性物

記賣人買人

多れ夫は

以て誤り

買入り

自ら取直

後大帳相

知り月買

と換入を

紀波科より買入り

布通四町一圓

一沙科村願

は江原

町木之瀬

所了局初也

六月

布衣元武州

上列村より

島三條寺

秋久し多し

以て有る物

村に四十七市

市場に陽向

平賣日以下

十名お建度

